

## キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー2021『若い頃・大学院の頃にやっておくべきことは?』事前アンケート ご協力をお願い

第44回(2021年)日本分子生物学会年会では、「若い頃・大学院の頃にやっておくべきことは?」と題してランチタイムセミナーを開催します。

学部生や大学院生、そして、駆け出しの若手研究者の皆さん。それぞれ将来の目標をお持ちだと思います。また、かつては若手であった諸先輩方も、当時から目標をお持ちであったと思います。では、学生や若手の皆さんは、目標に向かって、日々どのようなことを考えて過ごされていますか?そして、諸先輩方は、若い頃、目標に向けてどのようなことを考えて過ごされていたのでしょうか?

今回の企画では、様々な立場の皆さんから、キャリアの色々な時期における目標設定や意識、目標達成に必要と思われることなどをアンケート調査します。セミナー当日は、調査結果を元に、立場や年齢による違いや共通点を議論しつつ、学生や若手の皆さんのスキルアップにつながる情報を提供し、若い皆さんの前途にエールを送ります。様々な立場の参加者が相互理解を深めることのできる、楽しく有意義な企画にしたいと思います。

本アンケート調査がイベントの成功には不可欠です。お忙しいところ恐縮ですが、幅広い年齢層の皆様のご協力をお願い申し上げます。(所要時間:5-10分程度)

【アンケート実施期間】2021年8月6日(金)~8月27日(金)

日本分子生物学会キャリアパス委員会

\*必須

### 1.性別 \*

☐男性 ☐女性 ☐回答しない

### 2.職階 \*

☐学部生 ☐大学院生(修士) ☐大学院生(博士) ☐技術支援・テクニシャン ☐ポスドク・任期付き研究員 ☐企業所属の研究員 ☐大学教員(non-PIの助教・講師・准教授) ☐大学教員(教授、独立准教授、独立講師などのPI) ☐研究所等の任期なし研究員等(non-PI) ☐研究所等の主任研究員・チームリーダー等(PI) ☐その他:

### 3.年齢 \*

☐24歳以下 ☐25~29歳 ☐30~34歳 ☐35~39歳 ☐40~49歳 ☐50~59歳 ☐60歳以上

### 4.所属 \*

☐理学(生命・生物)系 ☐理学(その他)系 ☐工学系 ☐農学・獣医学系 ☐医歯薬学系 ☐その他

設問が続きます。以下、ご自身のカテゴリーの質問に回答してください。該当するものを選択して次へ進んでください。\*

☐学生(学部生、大学院修士課程および博士課程に在学中)

☐ポスドク・任期付き研究員

☐non-PIのスタッフ(准教授、講師、助教、任期なし研究員、技術員など)

☐PI(教授、独立准教授、独立講師・助教、主任研究員、チームリーダーなど)

**学生（学部生、大学院修士課程および博士課程に在学中）**

※選択肢に「その他（自由記述）」がある設問は、記述せずに「その他」を選択だけすることもできます。

**いずれかを選択してください \***

- ☐ 現在、大学院博士課程（博士後期課程）に在学中
- ☐ 現在、大学院修士課程（博士前期課程）に在学中で、博士課程（博士後期課程）に進学希望または検討中
- ☐ 現在、医歯薬・獣医など6年制の学部 に在学中の学部生で、大学院博士課程に進学希望または検討中
- ☐ 現在、学部生で、大学院修士課程（博士前期課程）に進学希望または検討中
- ☐ 現在、大学院修士課程（博士前期課程）に在学中で、博士課程（博士後期課程）への進学は考えていない
- ☐ 現在、学部生で、大学院への進学は考えていない

**大学院の頃の目標設定**

（現在、大学院博士課程・修士課程に在学中の方、または進学を希望・検討中の方）

**5. 大学院修士課程（博士課程前期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）**

※4年制の学部生の方は大学院への進学を想定してご回答ください。6年制の学部生の方は6へお進みください。

- ☐ 研究者になりたかったから
- ☐ 研究が面白そうだったから
- ☐ 一緒に研究したい先生がいたから
- ☐ いずれ海外留学してみたかったから
- ☐ 就職に有利そうだったから
- ☐ 人に勧められたから
- ☐ 修士号を取得したかったから
- ☐ 仕方なく（就職活動に失敗した等）
- ☐ そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等）
- ☐ その他:

→6へ進みます。

（「現在、学部生で、大学院への進学は考えていない」を選択した方）

**5-1. 大学院への進学を考えていない理由は何ですか？（複数選択可）**

- ☐ 研究に興味湧かないから
- ☐ 就職して給料（安定した収入）を得たいから
- ☐ ラボにいる先輩の姿を見て
- ☐ ラボにいる先生の姿を見て
- ☐ 学費・生活費が厳しいから
- ☐ 大学院で研究をやる自信がないから
- ☐ 進学後・学位取得後の進路に不安を覚えるから
- ☐ 研究の道とライフイベント（結婚・出産・育児など）との両立は難しそうだから
- ☐ その他（自由記述）

→13へ進みます。

**6. 大学院博士課程（博士課程後期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）**

※学部学生・大学院修士課程の方は大学院博士課程への進学を想定してご回答ください

- ☐ 研究者になりたかったから
- ☐ 研究が面白そうだったから
- ☐ 一緒に研究したい先生がいたから
- ☐ 修士課程（博士課程前期）での研究が面白かったから
- ☐ いずれ海外留学してみたかったから
- ☐ 就職に有利そうだったから
- ☐ 人に勧められたから
- ☐ 博士号を取得したかったから
- ☐ 仕方なく（就職活動に失敗した等）
- ☐ そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等）
- ☐ その他:

→7へ進みます。

（「現在、大学院修士課程（博士前期課程）に在学中で、博士課程（博士後期課程）への進学は考えていない）

**6-1. 大学院博士課程（博士課程後期）への進学を考えていない理由は何ですか？（複数選択可）**

- ☐ 研究に興味湧かないから
- ☐ 就職して給料（安定した収入）を得たいから
- ☐ ラボにいる先輩の姿を見て
- ☐ ラボにいる先生の姿を見て
- ☐ 学費・生活費が厳しいから
- ☐ 大学院で研究をやる自信がないから
- ☐ 進学後・学位取得後の進路に不安を覚えるから
- ☐ 研究の道とライフイベント（結婚・出産・育児など）との両立は難しそうだから
- ☐ その他（自由記述）

→13へ進みます。

## 7. 研究上の目標は何ですか？（複数回答可）

☐よい研究がしたい ☐自分が日々楽しめる研究・発見がしたい ☐学術的に面白い研究・発見がしたい ☐実用的に役に立つ研究がしたい ☐いずれは著名な雑誌に成果を発表したい ☐いずれは歴史に名を残すような大発見がしたい ☐自分のテーマで研究がしたい ☐長期的な計画に立脚した研究がしたい ☐グラントを獲得したい ☐後進を育成したい ☐まだそこまで深くは考えていない ☐その他:

## 8. キャリア上の目標は何ですか？（複数回答可）

☐安定した職を手に入れたい ☐企業の研究員になりたい ☐研究をする職につきたい ☐PIにはなりたくないがアカデミアには残りたい ☐PIになりたい ☐日本や世界を代表する研究者になりたい ☐出世したい ☐お金を稼ぎたい ☐有名になりたい ☐会社を起業してみたい ☐より良い研究環境に移りたい ☐まだそこまで深くは考えていない ☐その他:

## 9. 人生の目標（特に関心を持っていること）は何ですか？（複数回答可）

☐他に犠牲を払ってでも研究に邁進したい ☐研究と家族との生活を両立させたい ☐研究と趣味等を両立させたい ☐家族の幸せや成長 ☐良きパートナーに巡り会いたい ☐子供がほしい ☐健康を維持したい ☐海外に移住したい ☐裕福な暮らしがしたい ☐任期のない職業につきたい ☐退職金のもらえる職業につきたい ☐研究とは違う仕事がしてみたい ☐定年後は研究から離れて生活したい ☐生涯一研究者 ☐人並みな暮らしができればよい ☐自分が適応できる場所を探している ☐自己実現できるものを探している ☐社会やコミュニティに貢献したい（個人的なボランティア活動等） ☐社会やコミュニティに貢献したい（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐所属機関に貢献したい ☐ゆっくり研究生活がしたい ☐SNS等の情報発信 ☐あまり考えていない ☐その他:

## 研究者としての成功に重要なこと

### 10. 研究者としての成功に特に重要なことは何だと思えますか？

#### 10-1. 研究能力（複数選択可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力

#### 10-2. 研究以外の能力や性格的なもの（複数選択可）

☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

#### 10-3. 環境要因（複数選択可）

☐運 ☐失敗から学ぶ・挫折を乗り越える経験 ☐良い研究テーマ ☐良い研究室 ☐良い指導者 ☐良い研究仲間・友人 ☐良い家庭環境 ☐ロールモデルの存在

#### 10-4. 研究業績（複数選択可）

☐論文の数 ☐ハイインパクトジャーナルへの掲載論文 ☐独自性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても） ☐継続性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても）

#### 10-5. 研究費獲得能力（複数選択可）

☐魅力的な研究テーマの発案 ☐申請書の作文能力 ☐面接におけるプレゼン力 ☐面接における質疑応答能力 ☐人脈構築力

**10-6. その他、研究者としての成功に重要と思われることがあれば何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）**

**11. 学生の間に特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）**

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力 ☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

**12. 大学院生が、自分の目標を達成する上で大切だと思うことが他にあれば自由に書いて下さい。（自由記述・全角 800 字以内）**

**13. その他、何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）**

#### ポスドク・任期付き研究員

※選択肢に「その他（自由記述）」がある設問は、記述せずに「その他」を選択だけすることもできます。

#### 大学院の頃の目標設定

**14. 大学院修士課程（博士課程前期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）**

☐研究者になりたかったから ☐研究が面白そうだったから ☐一緒に研究したい先生がいたから ☐いずれ海外留学してみたかったから ☐就職に有利そうだったから ☐人に勧められたから ☐修士号を取得したかったから ☐仕方なく（就職活動に失敗した等） ☐そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等） ☐その他:

**15. 大学院博士課程（博士課程後期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）**

☐研究者になりたかったから ☐研究が面白そうだったから ☐一緒に研究したい先生がいたから ☐修士課程（博士課程前期）での研究が面白かったから ☐いずれ海外留学してみたかったから ☐就職に有利そうだったから ☐人に勧められたから ☐博士号を取得したかったから ☐仕方なく（就職活動に失敗した等） ☐そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等） ☐その他:

**16. 学生の頃、研究者としての研究上の目標は何でしたか？（複数回答可）**

☐よい研究がしたかった ☐自分が日々楽しめる研究・発見がしたかった ☐学術的に面白い研究・発見がしたかった ☐実用的に役に立つ研究がしたかった ☐いずれは著名な雑誌に成果を発表したいと思っていた ☐いずれは歴史に名を残すような大発見がしたいと思っていた ☐自分のテーマで研究がしたかった ☐長期的な計画に立脚した研究がしたかった ☐グラントを獲得したかった ☐後進を育成したかった ☐まだそこまで深くは考えていなかった ☐その他:

**17. 学生の頃、研究者としてのキャリア上の目標は何でしたか？（複数回答可）**

☐安定した職を手に入れたかった ☐企業の研究員になりたかった ☐研究をする職につきたかった ☐PI にはなりたくないがアカデミアには残りたかった ☐PI になりたいと考えていた ☐日本や世界を代表する研究者になりたいと考えていた ☐出世したかった ☐お金を稼いだかった ☐有名になりたかった ☐会社を起業してみたかった ☐より良い研究環境に移りたかった ☐まだそこまで深くは考えていなかった ☐その他:

**18. 学生の頃、人生の目標（特に関心を持っていたこと）は何でしたか？（複数回答可）**

☐他に犠牲を払ってでも研究に邁進したいと考えていた ☐研究と家族との生活を両立させたいと考えていた ☐研究と趣味等を両立させたいと考えていた ☐家族の幸せや成長 ☐良きパートナーに巡り会いたいと考えていた ☐子供がほしかった ☐健康を維持したいと考えていた ☐海外に移住したかった ☐裕福な暮らしがしたかった ☐任期のない職業につきたかった ☐退職金もらえる職業につきたかった ☐いずれは研究とは違う仕事がしてみたかった ☐定年後は研究から離れて生活したかった ☐生涯一研究者 ☐人並みな暮らしができればよかった ☐自分が適応できる場所を探していた ☐自己実現できるものを探していた ☐社会やコミュニティに貢献したいと考えていた（個人的なボランティア活動等） ☐社会やコミュニティに貢献したいと考えていた（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐所属機関に貢献したかった ☐ゆっくり研究生活がしたかった ☐SNS等の情報発信 ☐あまり考えていなかった ☐その他:

**現在地および現在の目標設定**

**19-1. 学位取得後最初の職はどうやって見つけましたか？（複数回答可）**

☐公募 ☐就いた職の上等に声をかけられて ☐大学院時代の指導教員に勧められて ☐学会等で募集の存在を知って ☐ネット上で募集の存在を知って ☐自分で調べて直接問い合わせして ☐その他:

**19-2. 学位取得後最初の職を選んだ最大の理由は何ですか？（複数回答可）**

☐職務・研究内容 ☐給与 ☐働く研究機関の魅力 ☐働く研究室・PIの魅力 ☐研究室のロケーション ☐その他:

**20-1. 現在の職はどうやって見つけましたか？（複数回答可）**

※現在、学位取得後最初の職に就いている方は、21へお進みください。

☐公募 ☐同一研究機関内で昇格 ☐現職の上等に声をかけられて ☐前職の上等に勧められて ☐学会等で募集の存在を知って ☐ネット上で募集の存在を知って ☐自分で調べて直接問い合わせして ☐その他:

**20-2. 現在の職を選んだ最大の理由は何ですか？（複数回答可）**

※現在、学位取得後最初の職に就いている方は、21へお進みください。

☐職務・研究内容 ☐給与 ☐働く研究機関の魅力 ☐働く研究室・PIの魅力 ☐研究室のロケーション ☐他に選択肢がなかった ☐その他:

**21. 現在の研究者としての研究上の目標は何ですか？（複数回答可）**

☐よい研究がしたい ☐自分が日々楽しめる研究・発見がしたい ☐学術的に面白い研究・発見がしたい ☐実用的に役に立つ研究がしたい ☐いずれは著名な雑誌に成果を発表したい ☐いずれは歴史に名を残すような大発見がしたい ☐自分のテーマで研究がしたい ☐長期的な計画に立脚した研究がしたい ☐グラントを獲得したい ☐後進を育成したい ☐そこまで深くは考えていない ☐その他:

**22. 現在の研究者としてのキャリア上の目標は何ですか？（複数回答可）**

☐安定した職を手に入れたい ☐企業の研究員になりたい ☐研究をする職につきたい ☐PIにはなりたくないがアカデミアには残りたい ☐PIになりたい ☐日本や世界を代表する研究者になりたい ☐出世したい ☐お金を稼ぎたい ☐有名になりたい ☐会社を起業してみたい ☐より良い研究環境に移りたい ☐そこまで深くは考えていない ☐その他:

**23. 現在の人生の目標（特に関心を持っていること）は何ですか？（複数回答可）**

☐他に犠牲を払ってでも研究に邁進したい ☐研究と家族との生活を両立させたい ☐研究と趣味等を両立させたい ☐家族の幸せや成長 ☐良きパートナーに巡り会いたい ☐子供がほしい ☐健康を維持したい

☐海外に移住したい ☐裕福な暮らしがしたい ☐任期のない職業につきたい ☐退職金のもらえる職業につきたい ☐研究とは違う仕事がしてみたい ☐定年後は研究から離れて生活したい ☐生涯一研究者 ☐人並みな暮らしができればよい ☐自分が適応できる場所を探している ☐自己実現できるものを探している ☐社会やコミュニティに貢献したい（個人的なボランティア活動等） ☐社会やコミュニティに貢献したい（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐所属機関に貢献したい ☐ゆっくり研究生活がしたい ☐SNS等の情報発信 ☐あまり考えていない ☐その他:

#### 研究者としての成功に重要なこと

#### 24. 研究者としての成功に特に重要なことは何だと思いますか？

##### 24-1.研究能力（複数選択可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力

##### 24-2.研究以外の能力や性格的なもの（複数選択可）

☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

##### 24-3.環境要因（複数選択可）

☐運 ☐失敗から学ぶ・挫折を乗り越える経験 ☐良い研究テーマ ☐良い研究室 ☐良い指導者 ☐良い研究仲間・友人 ☐良い家庭環境 ☐ロールモデルの存在

##### 24-4.研究業績（複数選択可）

☐論文の数 ☐ハイインパクトジャーナルへの掲載論文 ☐独自性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても） ☐継続性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても）

##### 24-5.研究費獲得能力（複数選択可）

☐魅力的な研究テーマの発案 ☐申請書の作文能力 ☐面接におけるプレゼン力 ☐面接における質疑応答能力 ☐人脈構築力

#### 24-6. その他、研究者としての成功に重要と思われることがあれば何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）

#### 25. 学生の間に特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力 ☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

#### 26. 働き始めてからも特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思

考能力 ☐ 先を読む力・将来を見通す力 ☐ 他人と議論する力 ☐ 読解力 ☐ 作文能力 ☐ トーク能力 ☐  
英語読解力 ☐ 英語作文能力 ☐ 英語トーク能力 ☐ 好奇心（研究上の） ☐ 好奇心（研究以外のトピック・  
趣味等） ☐ 幅広い教養 ☐ 体力 ☐ 忍耐力 ☐ 負けず嫌い ☐ 楽観的であること ☐ 自信 ☐ 協調性 ☐  
積極性 ☐ 社交性 ☐ リーダーシップ ☐ 人脈構築力 ☐ 政治力 ☐ 教育力・面倒見の良さ

**27.今の職についてみて、或いは年齢を重ねてみて大切だったと思うこと（やっておいてよかったこと、やっておけばよかったこと）があれば自由に書いて下さい。（自由記述・全角 800 字以内）**

**28. その他、何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）**

**non-PI のスタッフ（准教授、講師、助教、任期なし研究員、技術員など）**

※選択肢に「その他（自由記述）」がある設問は、記述せずに「その他」を選択だけすることもできます。

### **大学院の頃の目標設定**

**29. 大学院修士課程（博士課程前期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）**

☐ 研究者になりたかったから ☐ 研究が面白そうだったから ☐ 一緒に研究したい先生がいたから ☐ いずれ海外留学してみたかったから ☐ 就職に有利そうだったから ☐ 人に勧められたから ☐ 修士号を取得したかったから ☐ 仕方なく（就職活動に失敗した等） ☐ そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等） ☐ その他:

**30. 大学院博士課程（博士課程後期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）**

☐ 研究者になりたかったから ☐ 研究が面白そうだったから ☐ 一緒に研究したい先生がいたから ☐ 修士課程（博士課程前期）での研究が面白かったから ☐ いずれ海外留学してみたかったから ☐ 就職に有利そうだったから ☐ 人に勧められたから ☐ 博士号を取得したかったから ☐ 仕方なく（就職活動に失敗した等） ☐ そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等） ☐ その他:

**31. 学生の頃、研究者としての研究上の目標は何でしたか？（複数回答可）**

※アンケートサイト不備のため回答データが取得できませんでした。申し訳ございません。  
（予定していた回答選択肢は設問 21 と共通）

**32. 学生の頃、研究者としてのキャリア上の目標は何でしたか？（複数回答可）**

☐ 安定した職を手に入れたかった ☐ 企業の研究員になりたかった ☐ 研究をする職につきたかった ☐ PI にはなりたくないがアカデミアには残りたかった ☐ PI になりたいと考えていた ☐ 日本や世界を代表する研究者になりたいと考えていた ☐ 出世したかった ☐ お金を稼ぎたかった ☐ 有名になりたかった ☐ 会社を起業してみたかった ☐ より良い研究環境に移りたかった ☐ まだそこまで深くは考えていなかった ☐ その他:

**33. 学生の頃、人生の目標（特に関心を持っていたこと）は何でしたか？（複数回答可）**

☐ 他に犠牲を払ってでも研究に邁進したいと考えていた ☐ 研究と家族との生活を両立させたいと考えていた ☐ 研究と趣味等を両立させたいと考えていた ☐ 家族の幸せや成長 ☐ 良きパートナーに巡り会いたいと考えていた ☐ 子供がほしかった ☐ 健康を維持したいと考えていた ☐ 海外に移住したかった ☐ 裕福な暮らしがしたかった ☐ 任期のない職業につきたかった ☐ 退職金のもらえる職業につきたかった ☐ いずれは研究とは違う仕事がしてみたかった ☐ 定年後は研究から離れて生活したかった ☐ 生涯一研究者 ☐ 人並みな暮らしができればよかった ☐ 自分が適応できる場所を探していた ☐ 自己実現できるものを探していた ☐ 社会やコミュニティに貢献したいと考えていた（個人的なボランティア活動等） ☐ 社会やコミュニティに貢献したいと考えていた（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐ 所属機関に貢献したかった ☐ ゆっくり研究生活がしたかった ☐ SNS 等の情報発信 ☐ あまり考えていなかった ☐ その他:

の他:

#### 現在地および現在の目標設定

##### 34-1. 学位取得後最初の職はどうやって見つけましたか？（複数回答可）

☐公募 ☐就いた職の上司等に声をかけられて ☐大学院時代の指導教員に勧められて ☐学会等で募集の存在を知って ☐ネット上で募集の存在を知って ☐自分で調べて直接問い合わせして ☐その他:

##### 34-2. 学位取得後最初の職を選んだ最大の理由は何ですか？（複数回答可）

☐職務・研究内容 ☐給与 ☐働く研究機関の魅力 ☐働く研究室・PI の魅力 ☐研究室のロケーション ☐その他:

##### 35-1. 現在の職はどうやって見つけましたか？（複数回答可）

※現在、学位取得後最初の職に就いている方は、36 へお進みください。

☐公募 ☐同一研究機関内で昇格 ☐現職の上司等に声をかけられて ☐前職の上司に勧められて ☐学会等で募集の存在を知って ☐ネット上で募集の存在を知って ☐自分で調べて直接問い合わせして ☐その他:

##### 35-2. 現在の職を選んだ最大の理由は何ですか？（複数回答可）

※現在、学位取得後最初の職に就いている方は、36 へお進みください。

☐職務・研究内容 ☐給与 ☐働く研究機関の魅力 ☐働く研究室・PI の魅力 ☐研究室のロケーション ☐他に選択肢がなかった ☐その他:

##### 36. 現在の研究者としての研究上の目標は何ですか？（複数回答可）

☐よい研究がしたい ☐自分が日々楽しめる研究・発見がしたい ☐学術的に面白い研究・発見がしたい ☐実用的に役に立つ研究がしたい ☐いずれは著名な雑誌に成果を発表したい ☐いずれは歴史に名を残すような大発見がしたい ☐自分のテーマで研究がしたい ☐長期的な計画に立脚した研究がしたい ☐グラントを獲得したい ☐後進を育成したい ☐そこまで深くは考えていない ☐その他:

##### 37. 現在の研究者としてのキャリア上の目標は何ですか？（複数回答可）

☐安定した職を手に入れたい ☐企業の研究員になりたい ☐研究をする職につきたい ☐PI にはなりたくないがアカデミアには残りたい ☐PI になりたい ☐日本や世界を代表する研究者になりたい ☐出世したい ☐お金を稼ぎたい ☐有名になりたい ☐会社を起業してみたい ☐より良い研究環境に移りたい ☐そこまで深くは考えていない ☐その他:

##### 38. 現在の人生の目標（特に関心を持っていること）は何ですか？（複数回答可）

☐他に犠牲を払ってでも研究に邁進したい ☐研究と家族との生活を両立させたい ☐研究と趣味等を両立させたい ☐家族の幸せや成長 ☐良きパートナーに巡り会いたい ☐子供がほしい ☐健康を維持したい ☐海外に移住したい ☐裕福な暮らしがしたい ☐任期のない職業につきたい ☐退職金のもらえる職業につきたい ☐研究とは違う仕事がしてみたい ☐定年後は研究から離れて生活したい ☐生涯一研究者 ☐人並みな暮らしができればよい ☐自分が適応できる場所を探している ☐自己実現できるものを探している ☐社会やコミュニティに貢献したい（個人的なボランティア活動等） ☐社会やコミュニティに貢献したい（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐所属機関に貢献したい ☐ゆっくり研究生活がしたい ☐SNS 等の情報発信 ☐あまり考えていない ☐その他:

#### 研究者としての成功に重要なこと

##### 39. 研究者としての成功に特に重要なことは何だと思いますか？



### 39-1.研究能力（複数選択可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力

### 39-2.研究以外の能力や性格的なもの（複数選択可）

☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

### 39-3.環境要因（複数選択可）

☐運 ☐失敗から学ぶ・挫折を乗り越える経験 ☐良い研究テーマ ☐良い研究室 ☐良い指導者 ☐良い研究仲間・友人 ☐良い家庭環境 ☐ロールモデルの存在

### 39-4.研究業績（複数選択可）

☐論文の数 ☐ハイインパクトジャーナルへの掲載論文 ☐独自性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても） ☐継続性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても）

### 39-5.研究費獲得能力（複数選択可）

☐魅力的な研究テーマの発案 ☐申請書の作文能力 ☐面接におけるプレゼン力 ☐面接における質疑応答能力 ☐人脈構築力

### 39-6. その他、研究者としての成功に重要と思われることがあれば何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）

### 40. 学生の間に特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力 ☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

### 41. 働き始めてからも特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力 ☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐負けず嫌い ☐楽観的であること ☐自信 ☐協調性 ☐積極性 ☐社交性 ☐リーダーシップ ☐人脈構築力 ☐政治力 ☐教育力・面倒見の良さ

### 42.今の職についてみて、或いは年齢を重ねてみて大切だったと思うこと（やっておいてよかったこと、やっておけばよかったこと）があれば自由に書いて下さい。（自由記述・全角 800 字以内）

### 43. その他、何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）

PI（教授、独立准教授、独立講師・助教、主任研究員、チームリーダーなど）

※選択肢に「その他（自由記述）」がある設問は、記述せずに「その他」を選択だけすることもできます。

#### 大学院の頃の目標設定

##### 44. 大学院修士課程（博士課程前期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）

☐研究者になりたかったから ☐研究が面白そうだったから ☐一緒に研究したい先生がいたから ☐いずれ海外留学してみたかったから ☐就職に有利そうだったから ☐人に勧められたから ☐修士号を取得したかったから ☐仕方なく（就職活動に失敗した等） ☐そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等） ☐あまり考えていなかった ☐その他:

##### 45. 大学院博士課程（博士課程後期）に進学した理由は何でしたか？（複数回答可）

☐研究者になりたかったから ☐研究が面白そうだったから ☐一緒に研究したい先生がいたから ☐修士課程（博士課程前期）での研究が面白かったから ☐いずれ海外留学してみたかったから ☐就職に有利そうだったから ☐人に勧められたから ☐博士号を取得したかったから ☐仕方なく（就職活動に失敗した等） ☐そこまで深い理由はなかった（友達も進学するから等） ☐その他:

##### 46. 学生の頃、研究者としての研究上の目標は何でしたか？（複数回答可）

☐よい研究がしたかった ☐自分が日々楽しめる研究・発見がしたかった ☐学術的に面白い研究・発見がしたかった ☐実用的に役に立つ研究がしたかった ☐いずれは著名な雑誌に成果を発表したいと思っていた ☐いずれは歴史に名を残すような大発見がしたいと思っていた ☐自分のテーマで研究がしたかった ☐長期的な計画に立脚した研究がしたかった ☐グラントを獲得したかった ☐後進を育成したかった ☐まだそこまで深くは考えていなかった ☐その他:

##### 47. 学生の頃、研究者としてのキャリア上の目標は何でしたか？（複数回答可）

☐安定した職を手に入れたかった ☐企業の研究員になりたかった ☐研究をする職につきたかった ☐PIにはなりたくないがアカデミアには残りたかった ☐PIになりたいと考えていた ☐日本や世界を代表する研究者になりたいと考えていた ☐出世したかった ☐お金を稼ぎたかった ☐有名になりたかった ☐会社を起業してみたかった ☐より良い研究環境に移りたかった ☐まだそこまで深くは考えていなかった ☐その他:

##### 48. 学生の頃、人生の目標（特に関心を持っていたこと）は何でしたか？（複数回答可）

☐他に犠牲を払ってでも研究に進みたいと考えていた ☐研究と家族との生活を両立させたいと考えていた ☐研究と趣味等を両立させたいと考えていた ☐家族の幸せや成長 ☐良きパートナーに巡り会いたいと考えていた ☐子供がほしかった ☐健康を維持したいと考えていた ☐海外に移住したかった ☐裕福な暮らしがしたかった ☐任期のない職業につきたかった ☐退職金のもらえる職業につきたかった ☐いずれは研究とは違う仕事がしてみたかった ☐定年後は研究から離れて生活したかった ☐生涯一研究者 ☐人並みな暮らしができればよかった ☐自分が適応できる場所を探していた ☐自己実現できるものを探していた ☐社会やコミュニティに貢献したいと考えていた（個人的なボランティア活動等） ☐社会やコミュニティに貢献したいと考えていた（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐所属機関に貢献したかった ☐ゆっくり研究生活がしたかった ☐SNS等の情報発信 ☐あまり考えていなかった ☐その他:

#### 現在地および現在の目標設定

##### 49-1. 学位取得後最初の職はどうやって見つけましたか？（複数回答可）

☐公募 ☐就いた職の上司等に声をかけられて ☐大学院時代の指導教員に勧められて ☐学会等で募集の存在を知って ☐ネット上で募集の存在を知って ☐自分で調べて直接問い合わせして ☐その他:

**49-2. 学位取得後最初の職を選んだ最大の理由は何ですか？（複数回答可）**

☐職務・研究内容 ☐給与 ☐働く研究機関の魅力 ☐働く研究室・PI の魅力 ☐研究室のロケーション ☐その他:

**50-1. 現在の職はどうやって見つけましたか？（複数回答可）**

☐公募 ☐同一研究機関内で昇格 ☐現職の上司等に声をかけられて ☐前職の上司に勧められて ☐学会等で募集の存在を知って ☐ネット上で募集の存在を知って ☐自分で調べて直接問い合わせして ☐その他:

**50-2. 現在の職を選んだ最大の理由は何ですか？（複数回答可）**

☐職務・研究内容 ☐給与 ☐働く研究機関の魅力 ☐働く研究室・PI の魅力 ☐研究室のロケーション ☐他に選択肢がなかった ☐その他:

**51. 現在の研究者としての研究上の目標は何ですか？（複数回答可）**

☐よい研究がしたい ☐自分が日々楽しめる研究・発見がしたい ☐学術的に面白い研究・発見がしたい ☐実用的に役に立つ研究がしたい ☐いずれは著名な雑誌に成果を発表したい ☐いずれは歴史に名を残すような大発見がしたい ☐自分のテーマで研究がしたい ☐長期的な計画に立脚した研究がしたい ☐グラントを獲得したい ☐後進を育成したい ☐そこまで深くは考えていない ☐その他:

**52. 現在の研究者としてのキャリア上の目標は何ですか？（複数回答可）**

☐安定した職を手に入れたい ☐企業の研究員になりたい ☐研究をする職につき続けたい ☐PI でのいるのをやめたいがアカデミアには残りたい ☐日本や世界を代表する研究者になりたい ☐出世したい ☐お金を稼ぎたい ☐有名になりたい ☐会社を起業してみたい ☐より良い研究環境に移りたい ☐そこまで深くは考えていない ☐その他:

**53. 現在の人生の目標（特に関心を持っていること）は何ですか？（複数回答可）**

☐他に犠牲を払ってでも研究に進みたい ☐研究と家族との生活を両立させたい ☐研究と趣味等を両立させたい ☐家族の幸せや成長 ☐良きパートナーに巡り会いたい ☐子供がほしい ☐健康を維持したい ☐海外に移住したい ☐裕福な暮らしがしたい ☐任期のない職業につきたい ☐退職金のもらえる職業につきたい ☐研究とは違う仕事がしてみたい ☐定年後は研究から離れて生活したい ☐生涯一研究者 ☐人並みな暮らしができればよい ☐自分が適応できる場所を探している ☐自己実現できるものを探している ☐社会やコミュニティに貢献したい（個人的なボランティア活動等） ☐社会やコミュニティに貢献したい（研究成果の波及効果として、直接的、間接的に） ☐所属機関に貢献したい ☐ゆっくり研究生活がしたい ☐SNS 等の情報発信 ☐あまり考えていない ☐その他:

**研究者としての成功に重要なこと**

**54. 研究者としての成功に特に重要なことは何だと思いますか？**

**54-1. 研究能力（複数選択可）**

☐手先の器用さ ☐作業の正確さ ☐修正・アジャスト能力 ☐雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐思考の処理スピード ☐既成概念にとらわれない発想力 ☐じっくり考える力 ☐論理的思考能力 ☐先を読む力・将来を見通す力 ☐他人と議論する力 ☐読解力 ☐作文能力 ☐トーク能力 ☐英語読解力 ☐英語作文能力 ☐英語トーク能力

**54-2. 研究以外の能力や性格的なもの（複数選択可）**

☐好奇心（研究上の） ☐好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐幅広い教養 ☐体力 ☐忍耐力 ☐

負けず嫌い ☐ 楽観的であること ☐ 自信 ☐ 協調性 ☐ 積極性 ☐ 社交性 ☐ リーダーシップ ☐ 人脈構築力 ☐ 政治力 ☐ 教育力・面倒見の良さ

**54-3.環境要因（複数選択可）**

☐ 運 ☐ 失敗から学ぶ・挫折を乗り越える経験 ☐ 良い研究テーマ ☐ 良い研究室 ☐ 良い指導者 ☐ 良い研究仲間・友人 ☐ 良い家庭環境 ☐ ロールモデルの存在

**54-4.研究業績（複数選択可）**

☐ 論文の数 ☐ ハイインパクトジャーナルへの掲載論文 ☐ 独自性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても） ☐ 継続性のある研究（ハイインパクトジャーナルでなくても）

**54-5.研究費獲得能力（複数選択可）**

☐ 魅力的な研究テーマの発案 ☐ 申請書の作文能力 ☐ 面接におけるプレゼン力 ☐ 面接における質疑応答能力 ☐ 人脈構築力

**54-6. その他、研究者としての成功に重要と思われることがあれば何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）**

**55. 学生の間に特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）**

☐ 手先の器用さ ☐ 作業の正確さ ☐ 修正・アジャスト能力 ☐ 雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐ 思考の処理スピード ☐ 既成概念にとらわれない発想力 ☐ じっくり考える力 ☐ 論理的思考能力 ☐ 先を読む力・将来を見通す力 ☐ 他人と議論する力 ☐ 読解力 ☐ 作文能力 ☐ トーク能力 ☐ 英語読解力 ☐ 英語作文能力 ☐ 英語トーク能力 ☐ 好奇心（研究上の） ☐ 好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐ 幅広い教養 ☐ 体力 ☐ 忍耐力 ☐ 負けず嫌い ☐ 楽観的であること ☐ 自信 ☐ 協調性 ☐ 積極性 ☐ 社交性 ☐ リーダーシップ ☐ 人脈構築力 ☐ 政治力 ☐ 教育力・面倒見の良さ

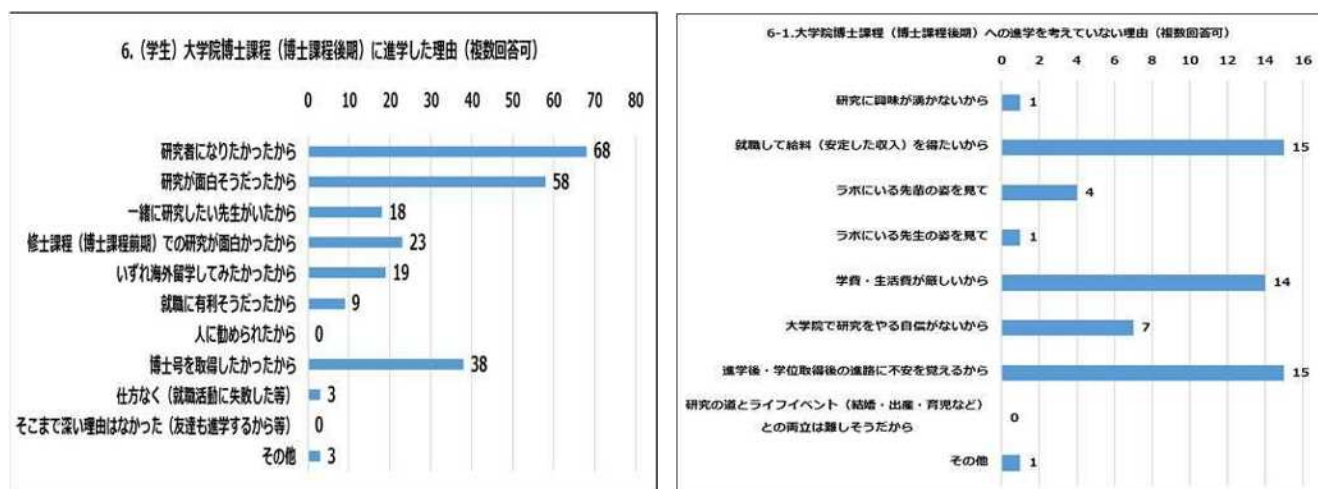
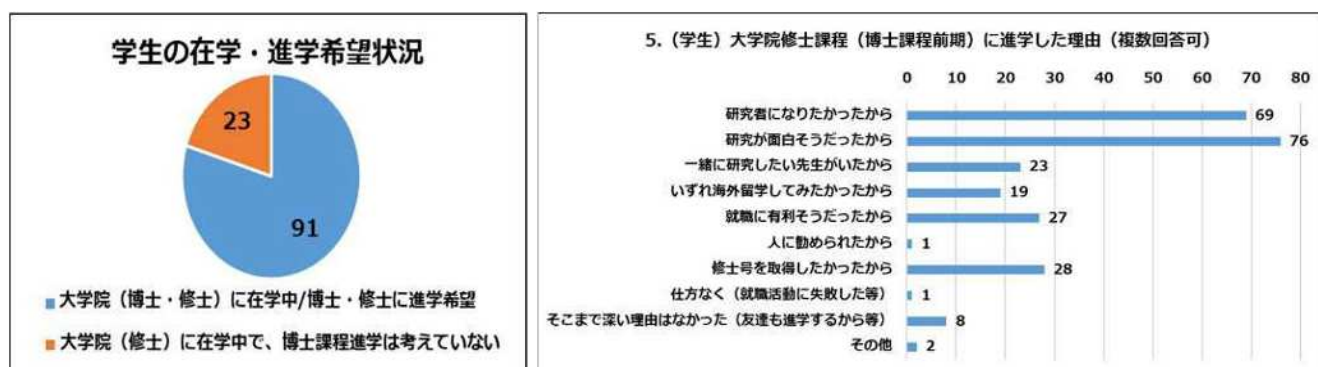
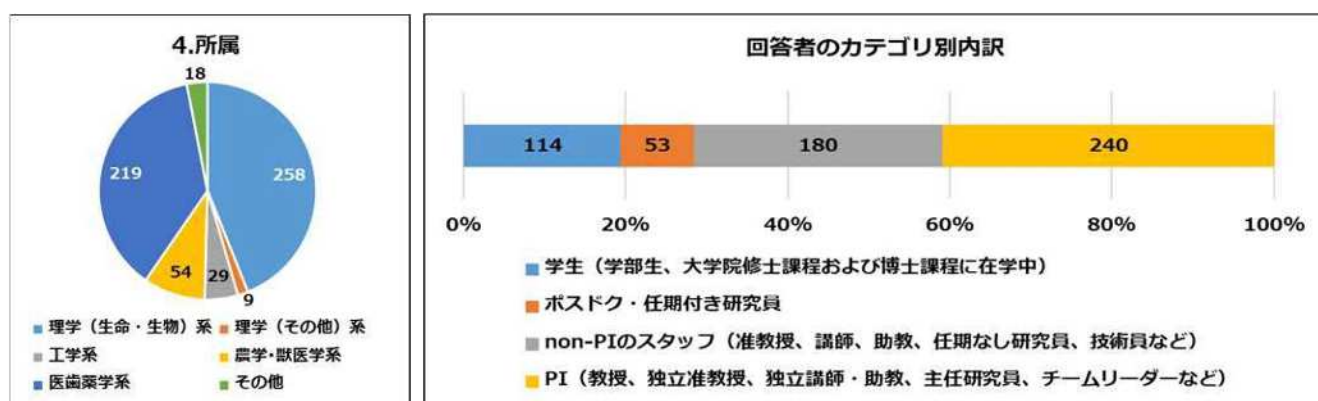
**56. 働き始めてからも特に成長できることは下記のうち何だと思いますか？（複数回答可）**

☐ 手先の器用さ ☐ 作業の正確さ ☐ 修正・アジャスト能力 ☐ 雑用（自身の研究以外の仕事）をこなす事務処理能力 ☐ 思考の処理スピード ☐ 既成概念にとらわれない発想力 ☐ じっくり考える力 ☐ 論理的思考能力 ☐ 先を読む力・将来を見通す力 ☐ 他人と議論する力 ☐ 読解力 ☐ 作文能力 ☐ トーク能力 ☐ 英語読解力 ☐ 英語作文能力 ☐ 英語トーク能力 ☐ 好奇心（研究上の） ☐ 好奇心（研究以外のトピック・趣味等） ☐ 幅広い教養 ☐ 体力 ☐ 忍耐力 ☐ 負けず嫌い ☐ 楽観的であること ☐ 自信 ☐ 協調性 ☐ 積極性 ☐ 社交性 ☐ リーダーシップ ☐ 人脈構築力 ☐ 政治力 ☐ 教育力・面倒見の良さ

**57.今の職についてみて、或いは年齢を重ねてみて大切だったと思うこと（やっておいてよかったこと、やっておけばよかったこと）があれば自由に書いて下さい。（自由記述・全角 800 字以内）**

**58. その他、何でも自由に記載してください。（自由記述・全角 800 字以内）**

**キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー2021**  
**『若い頃・大学院の頃にやっておくべきことは？』事前アンケート結果まとめ**  
**(アンケート実施期間：2021.8.6-27 回答者数：587名)**





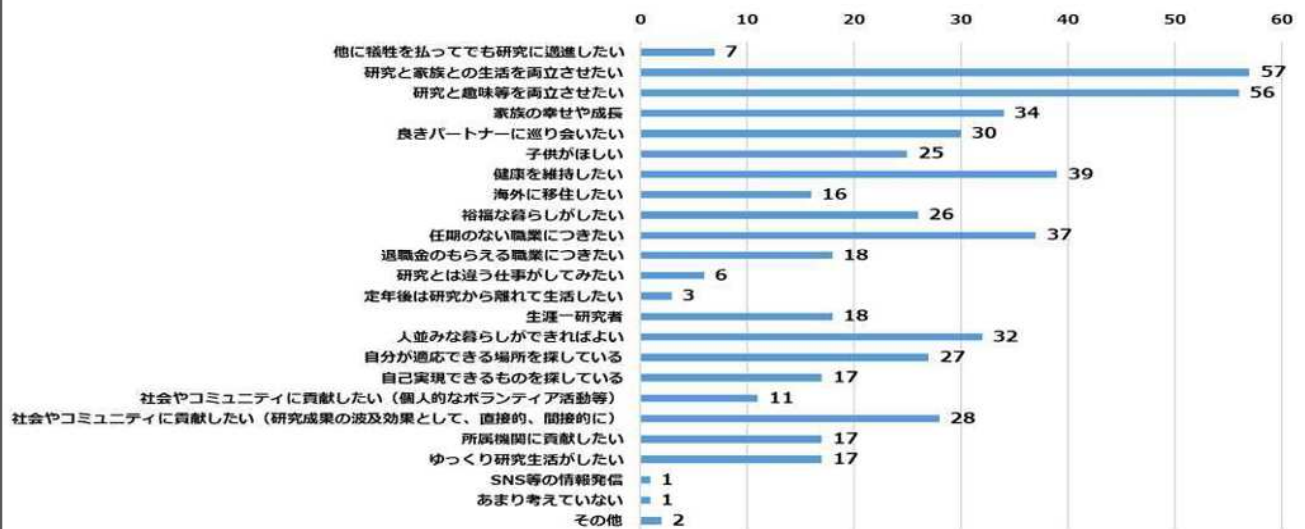
7. (学生) 研究者としての研究上の目標 (複数回答可)



8. (学生) 研究者としてのキャリア上の目標 (複数回答可)



9. (学生) 人生の目標 (複数回答可)

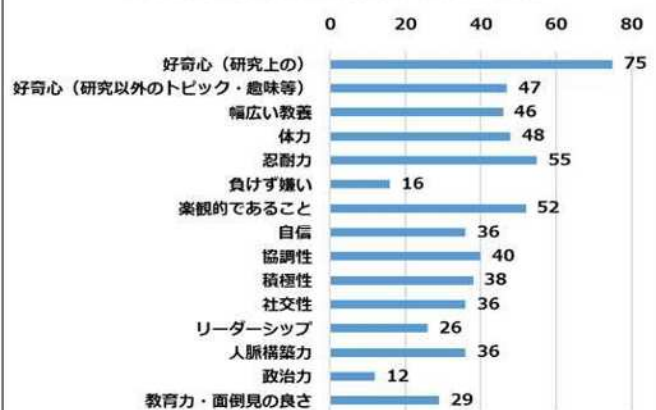


10-1. (学生) 研究者としての成功に特に重要なこと: 研究能力 (複数回答可)



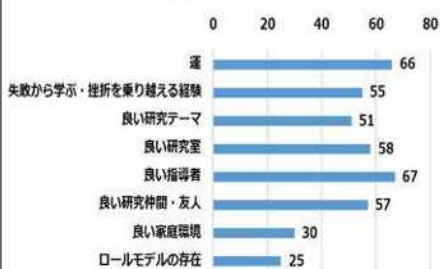
10-2. (学生) 研究者としての成功に特に重要なこと:

研究以外の能力や性格的なもの (複数回答可)



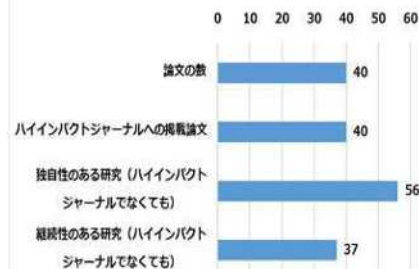
10-3. (学生) 研究者としての成功に特に重要なこと:

環境要因 (複数回答可)



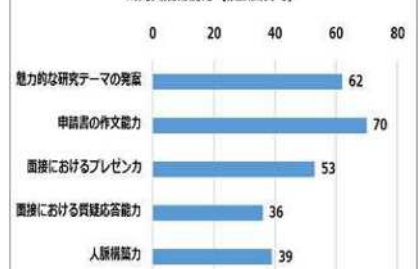
10-4. (学生) 研究者としての成功に特に重要なこと:

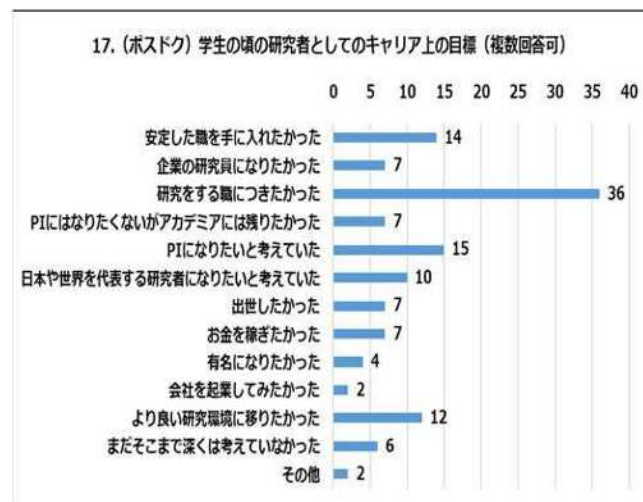
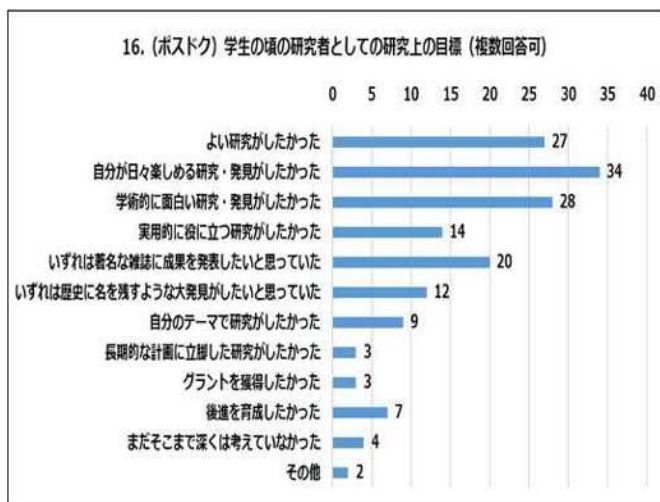
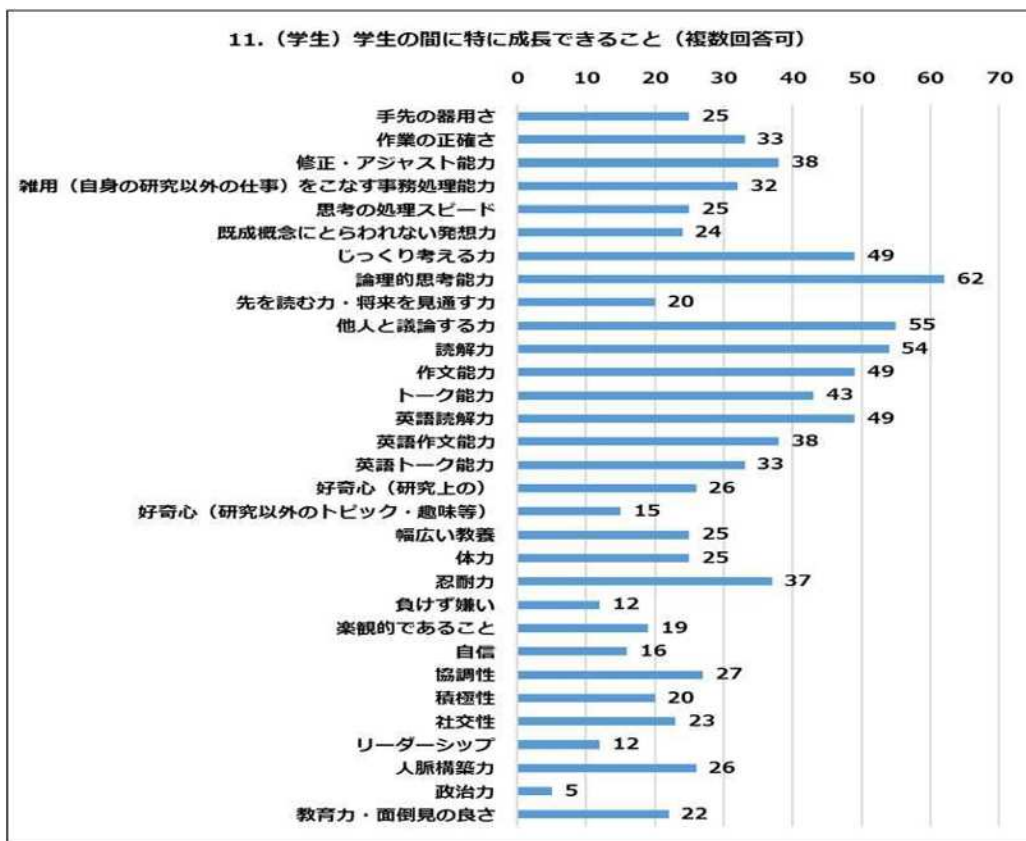
研究業績 (複数回答可)

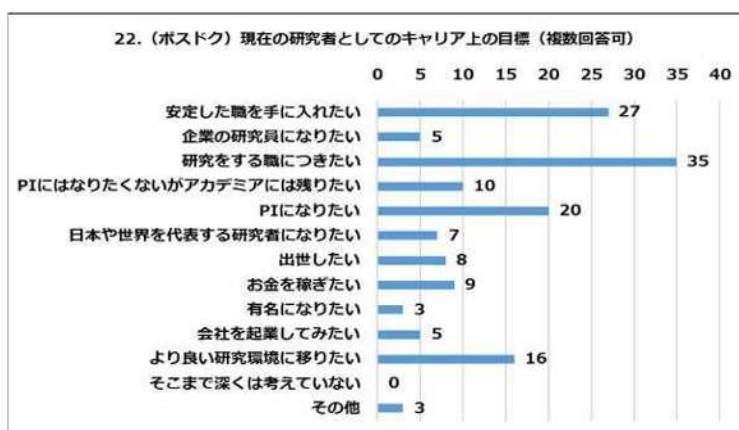
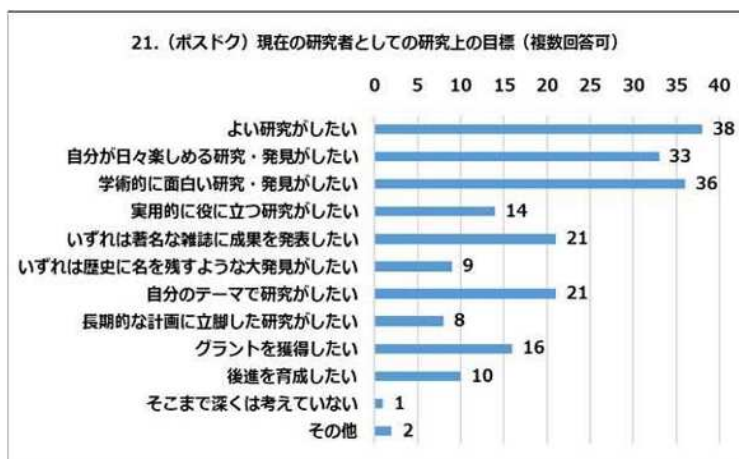
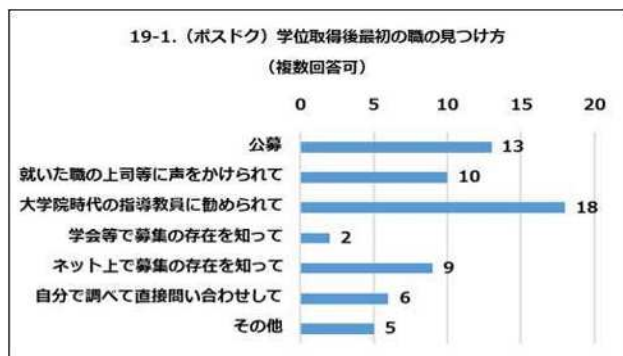
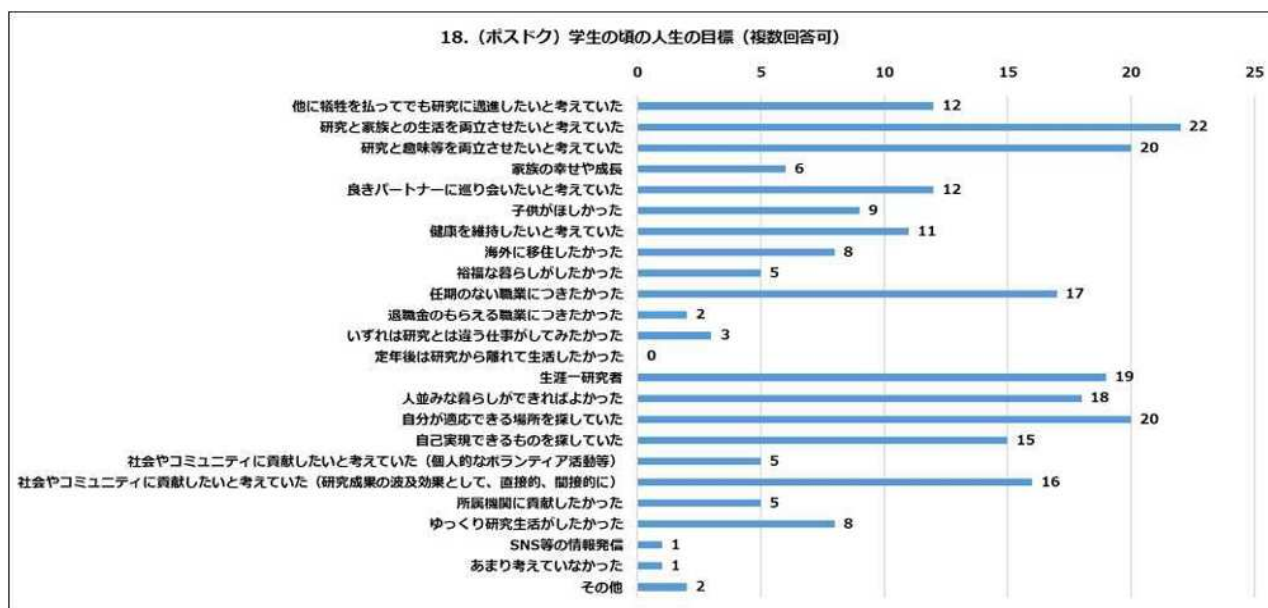


10-5. (学生) 研究者としての成功に特に重要なこと:

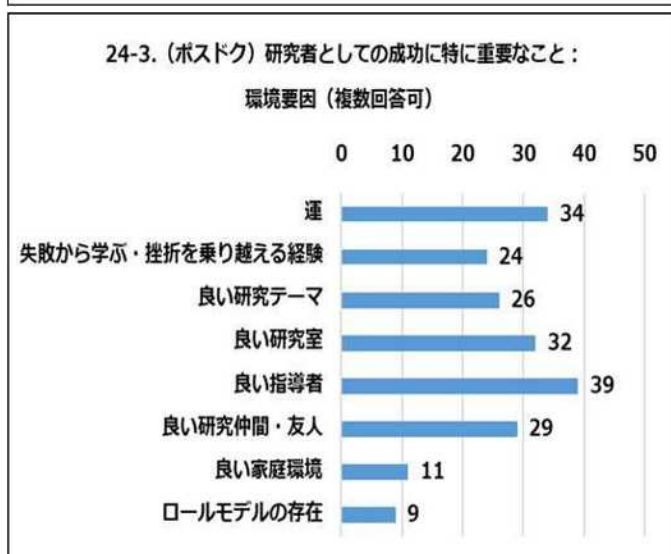
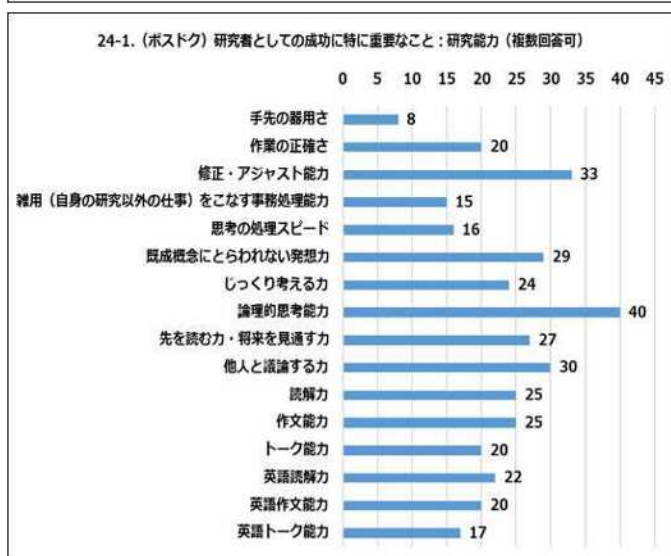
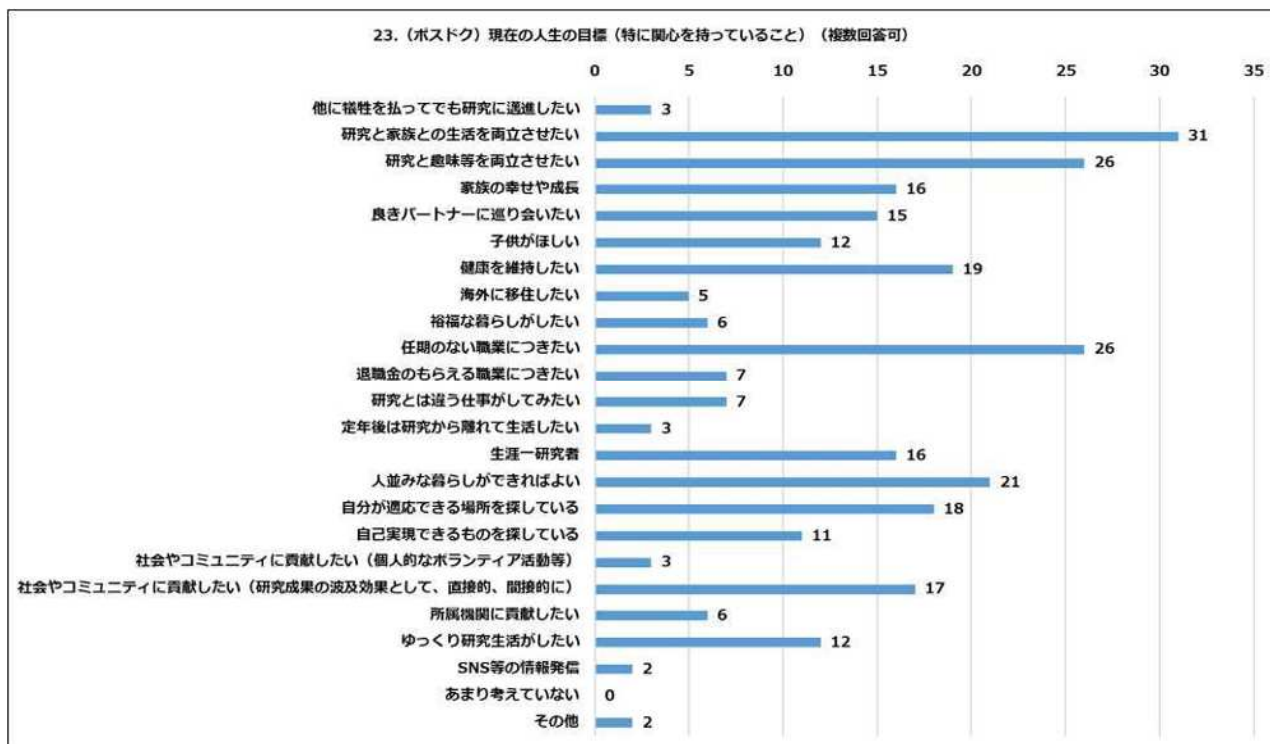
研究費獲得能力 (複数回答可)



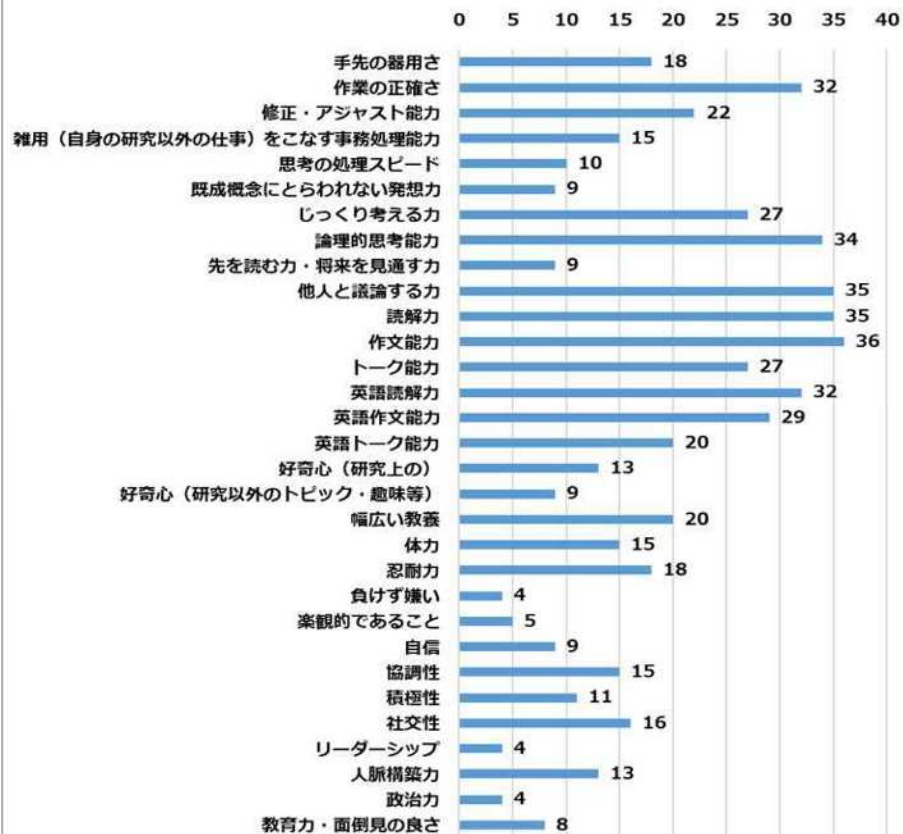




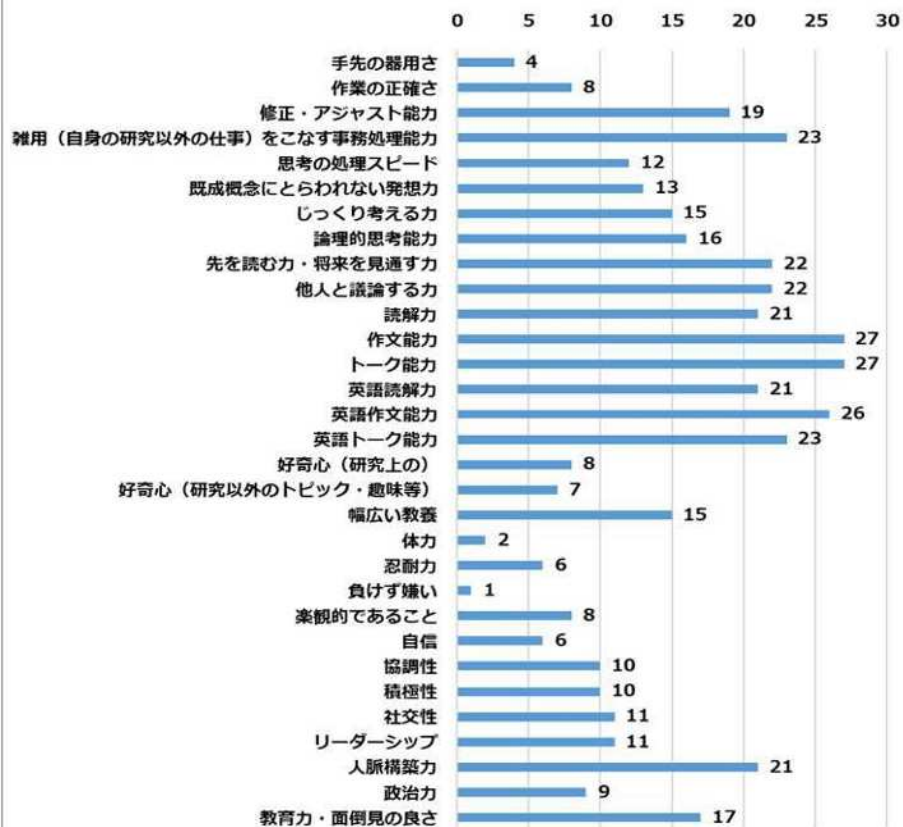




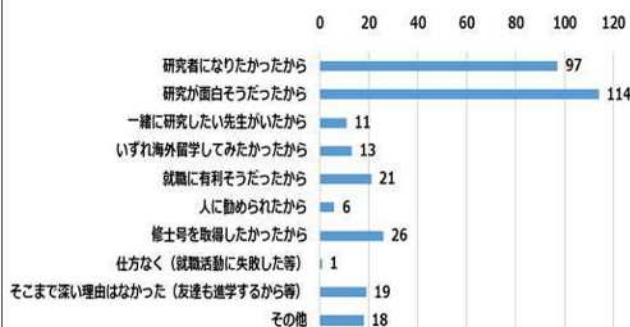
25. (ポスドク) 学生の間に特に成長できること (複数回答可)



26. (ポスドク) 働き始めてからも特に成長できること (複数回答可)



29. (non-PI) 大学院修士課程（博士課程前期）に進学した理由（複数回答可）



30. (non-PI) 大学院博士課程（博士課程後期）に進学した理由（複数回答可）



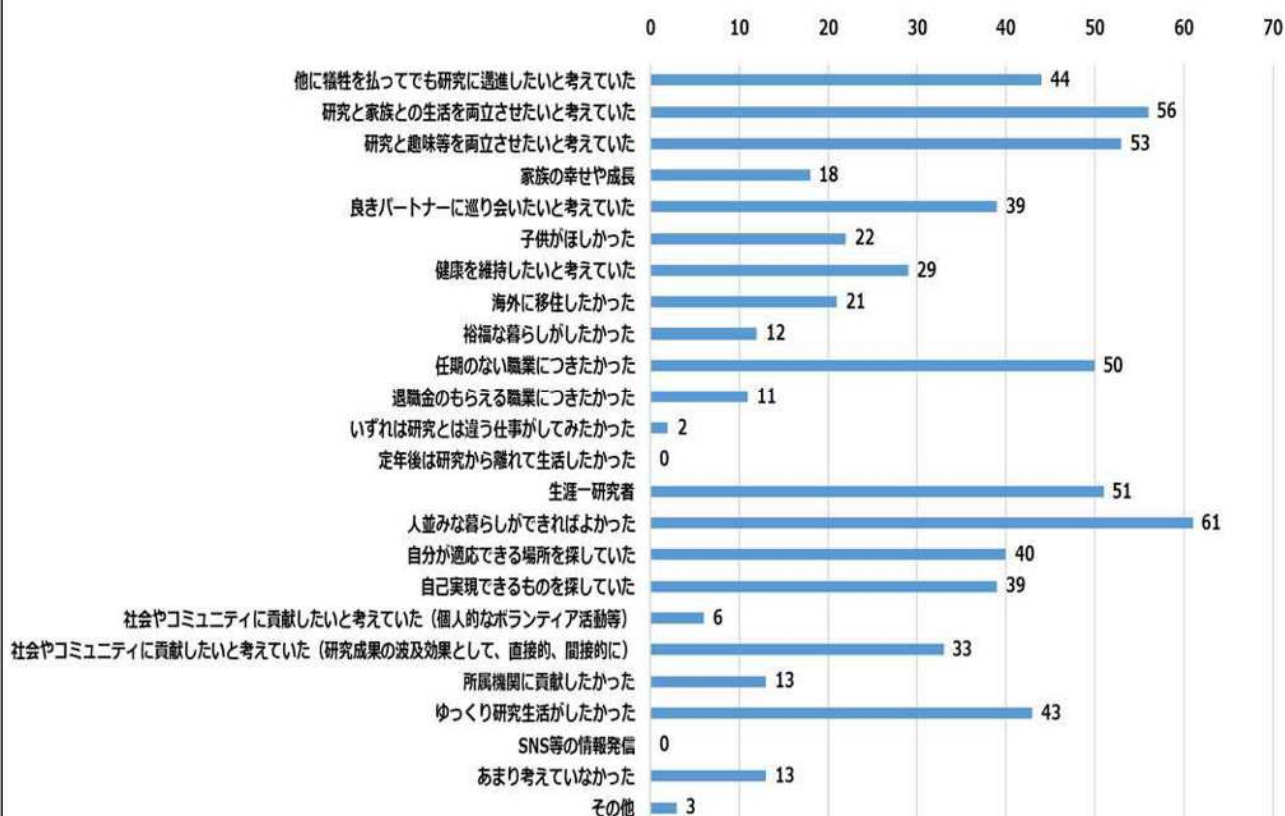
31. (non-PI) 学生の頃の研究者としての  
研究上の目標（複数回答可）

※アンケートサイト不備のためデータなし  
申し訳ございません。

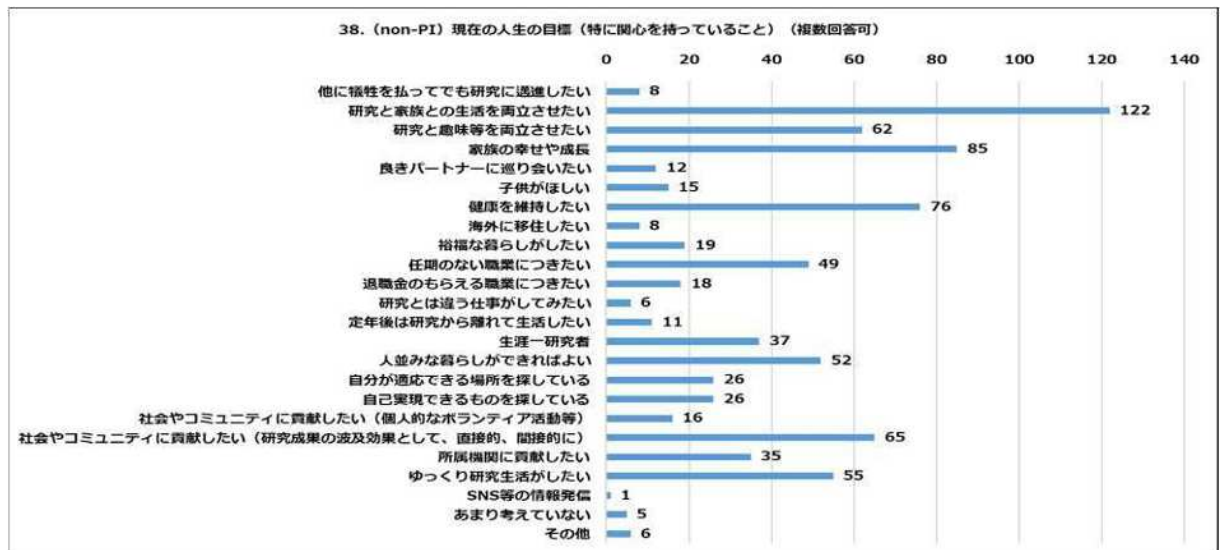
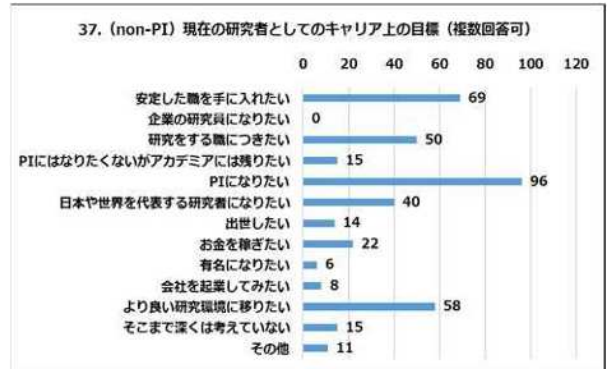
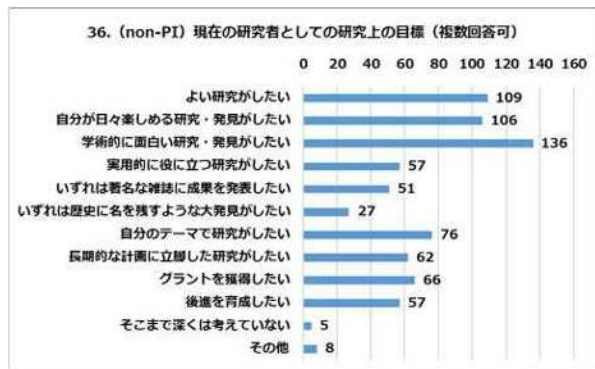
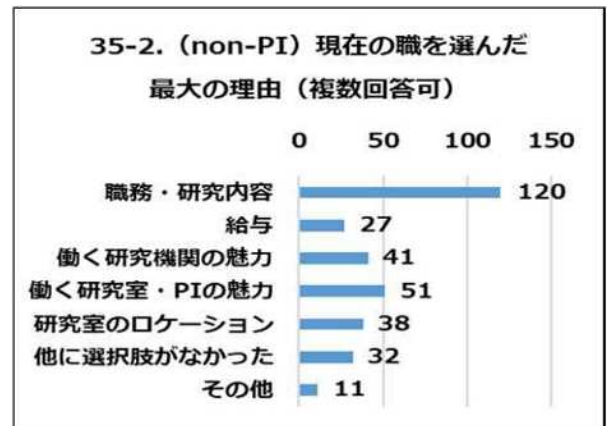
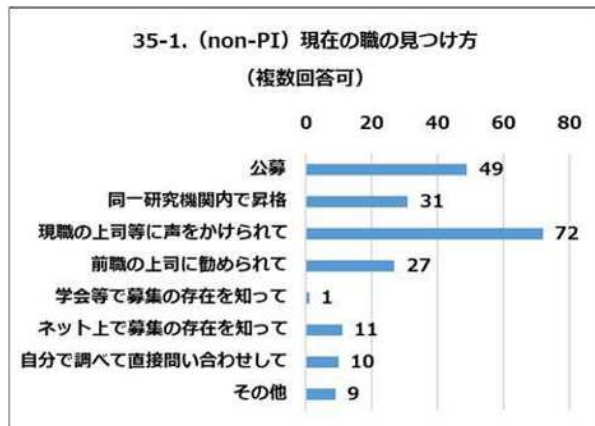
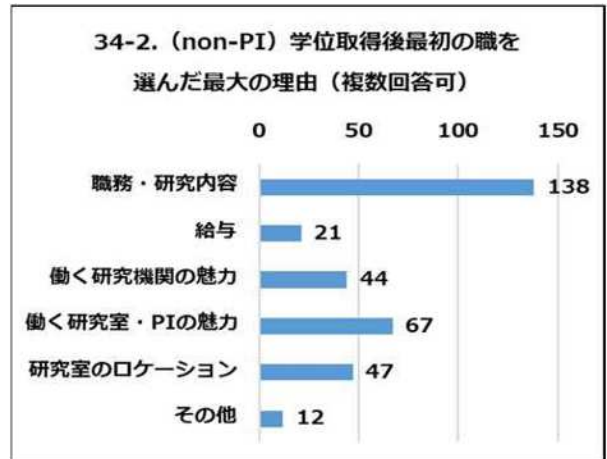
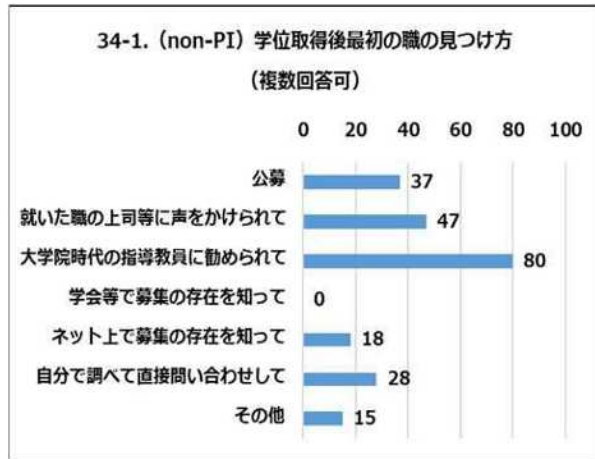
32. (non-PI) 学生の頃の研究者としてのキャリア上の目標（複数回答可）

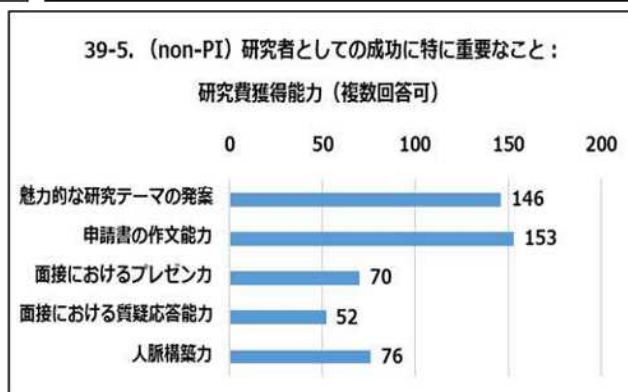
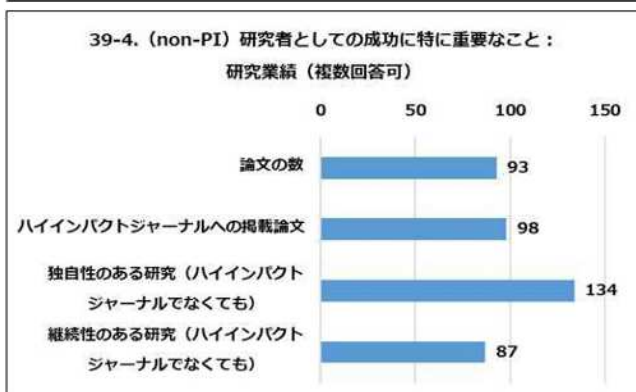
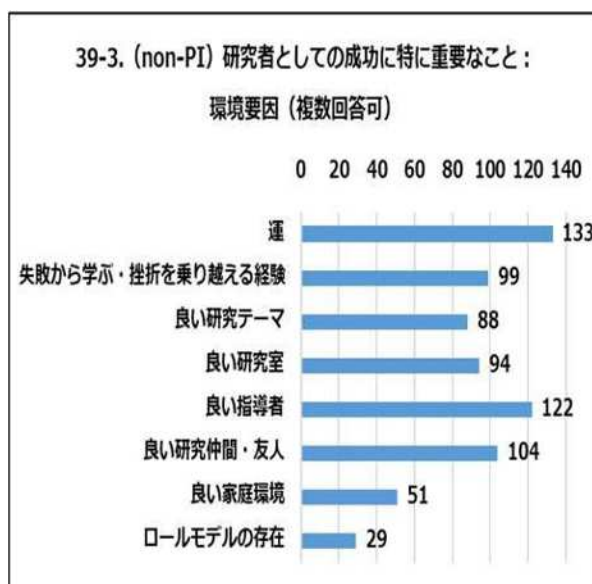
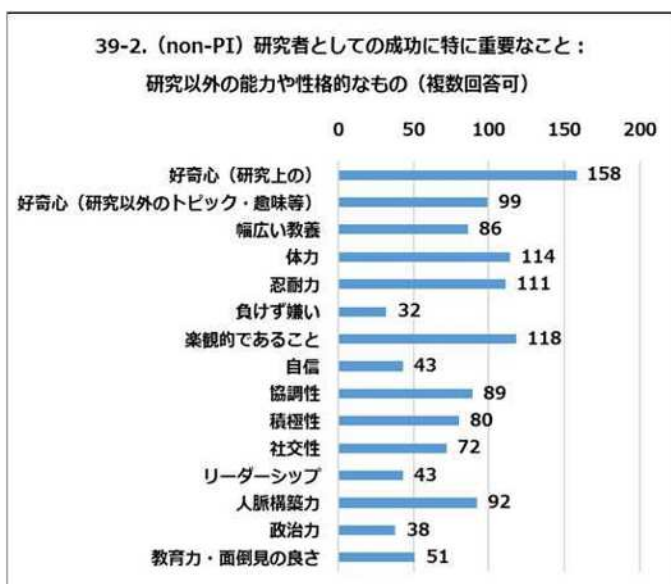
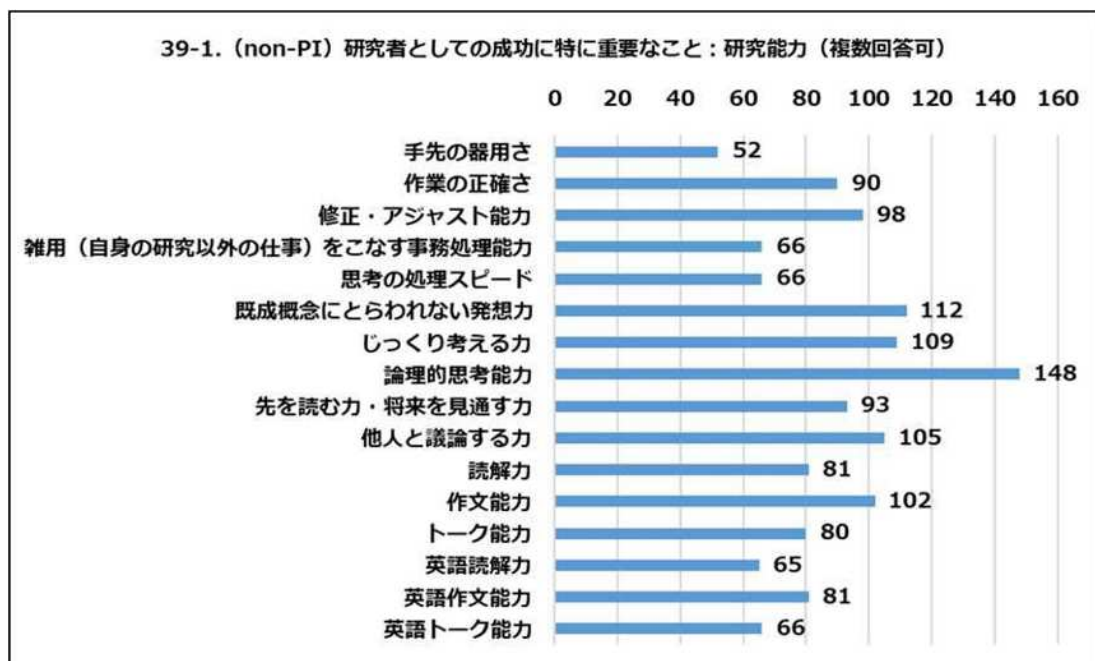


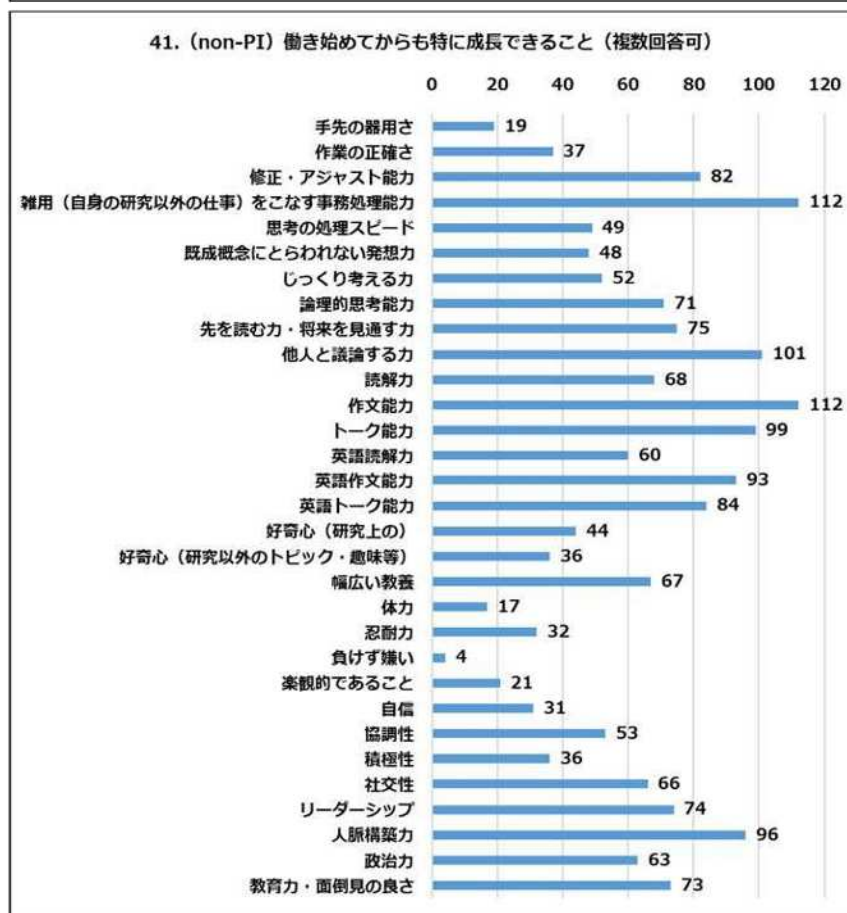
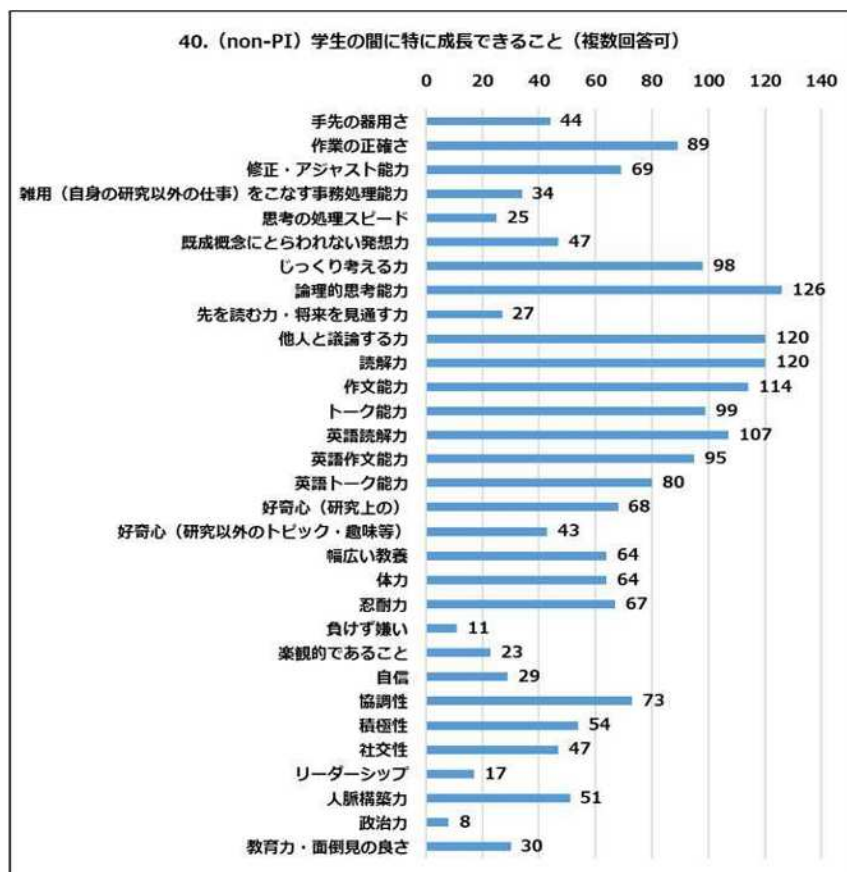
33. (non-PI) 学生の頃の人生の目標（複数回答可）













44. (PI) 大学院修士課程（博士課程前期）に進学した理由（複数回答可）



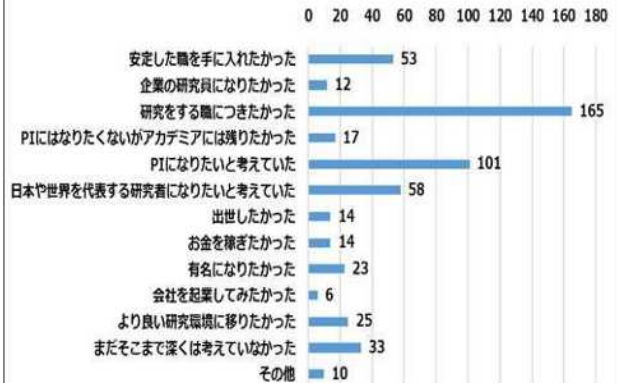
45. (PI) 大学院博士課程（博士課程後期）に進学した理由（複数回答可）



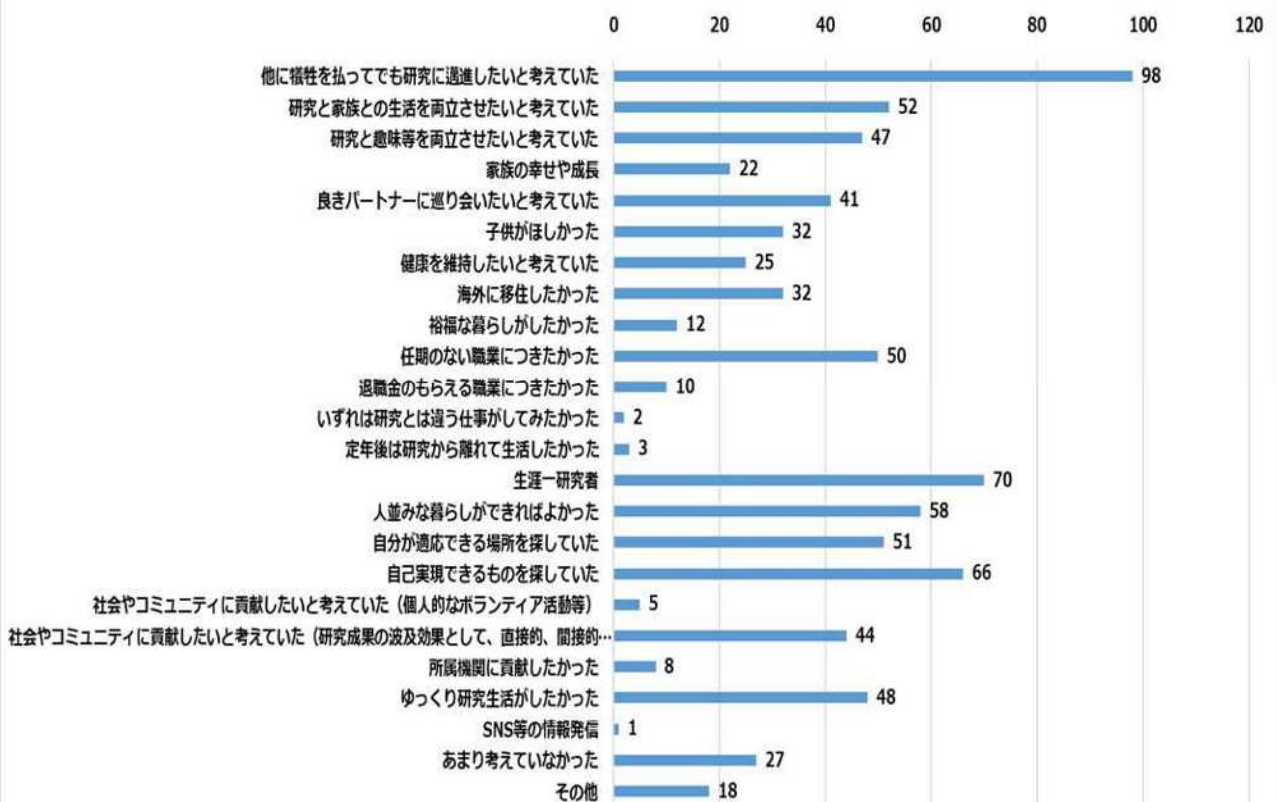
46. (PI) 学生の頃の研究者としての研究上の目標（複数回答可）



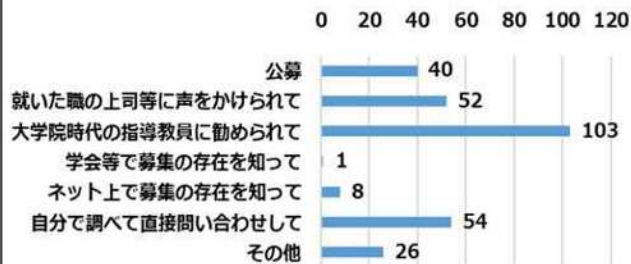
47. (PI) 学生の頃の研究者としてのキャリア上の目標（複数回答可）



48. (PI) 学生の頃の人生の目標（複数回答可）



49-1. (PI) 学位取得後最初の職のを見つけ方  
(複数回答可)



49-2. (PI) 学位取得後最初の職を選んだ最大の理由 (複数回答可)



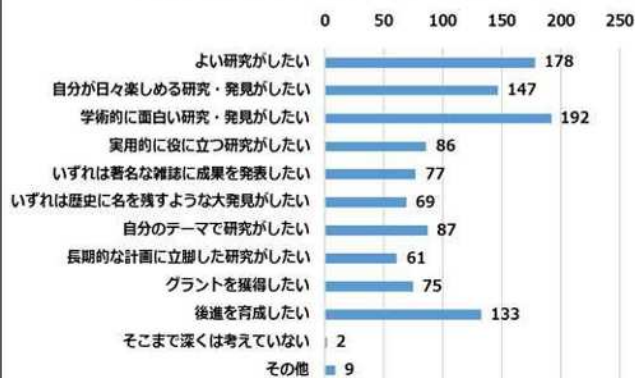
50-1. (PI) 現在の職のを見つけ方  
(複数回答可)



50-2. (PI) 現在の職を選んだ最大の理由 (複数回答可)



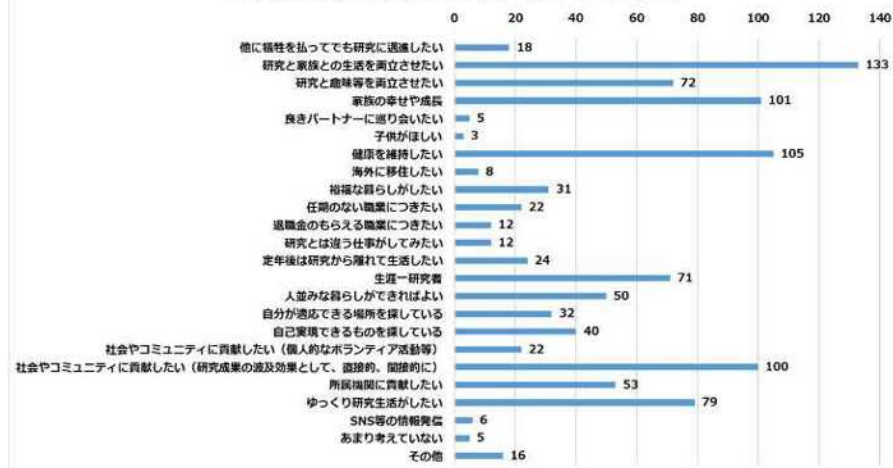
51. (PI) 現在の研究者としての研究上の目標 (複数回答可)



52. (PI) 現在の研究者としてのキャリア上の目標 (複数回答可)

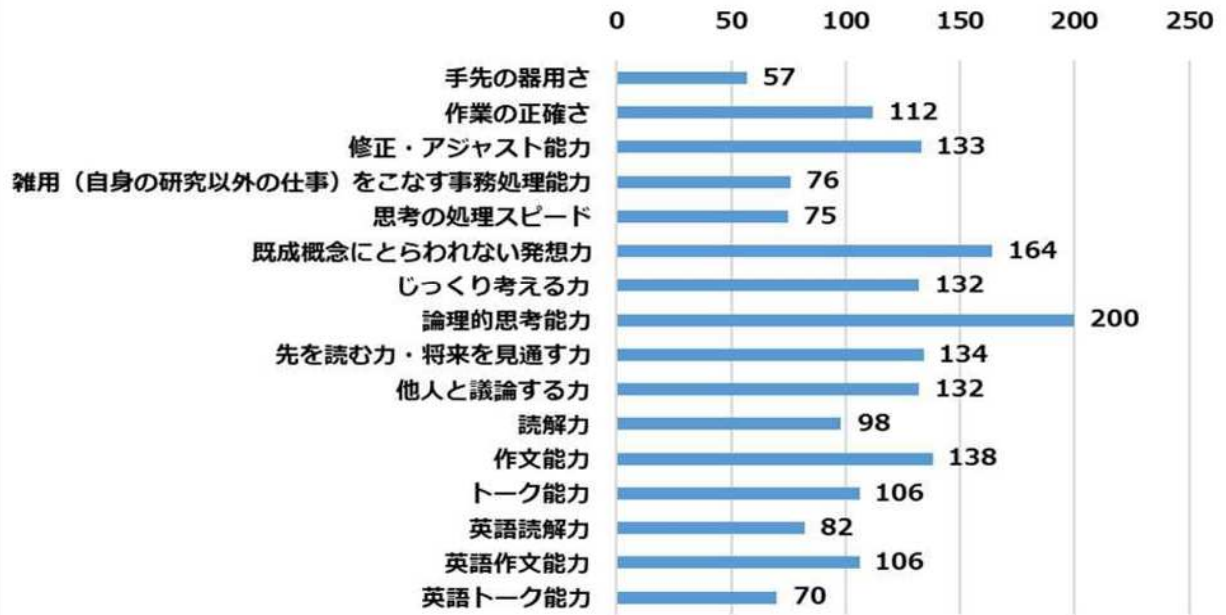


53. (PI) 現在の人生の目標 (特に関心を持っていること) (複数回答可)

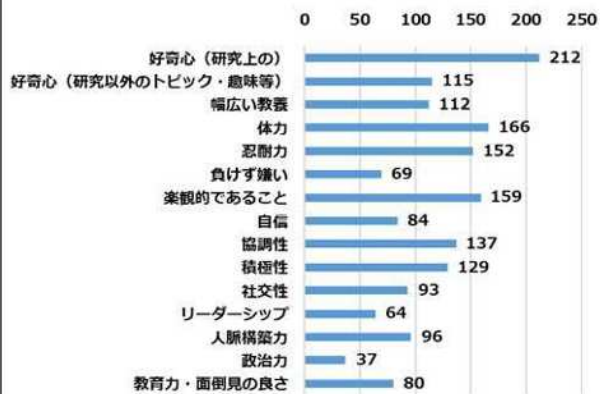




54-1. (PI) 研究者としての成功に特に重要なこと：研究能力（複数回答可）



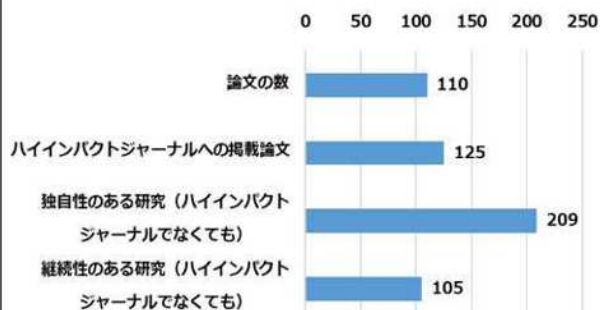
54-2. (PI) 研究者としての成功に特に重要なこと：  
研究以外の能力や性格的なもの（複数回答可）



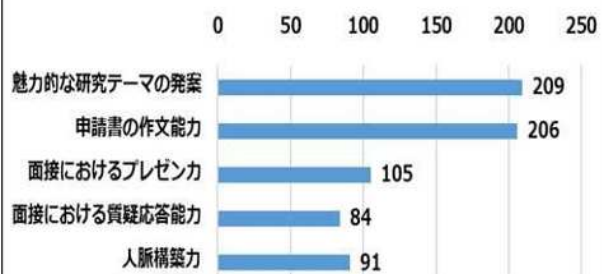
54-3. (PI) 研究者としての成功に特に重要なこと：  
環境要因（複数回答可）

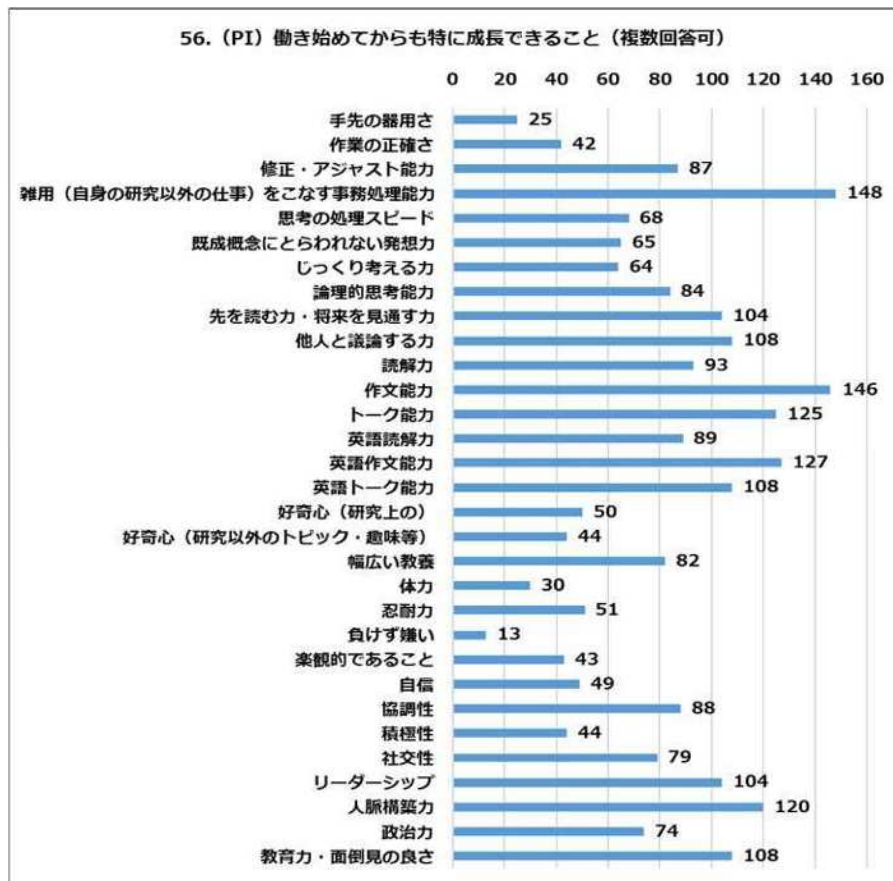
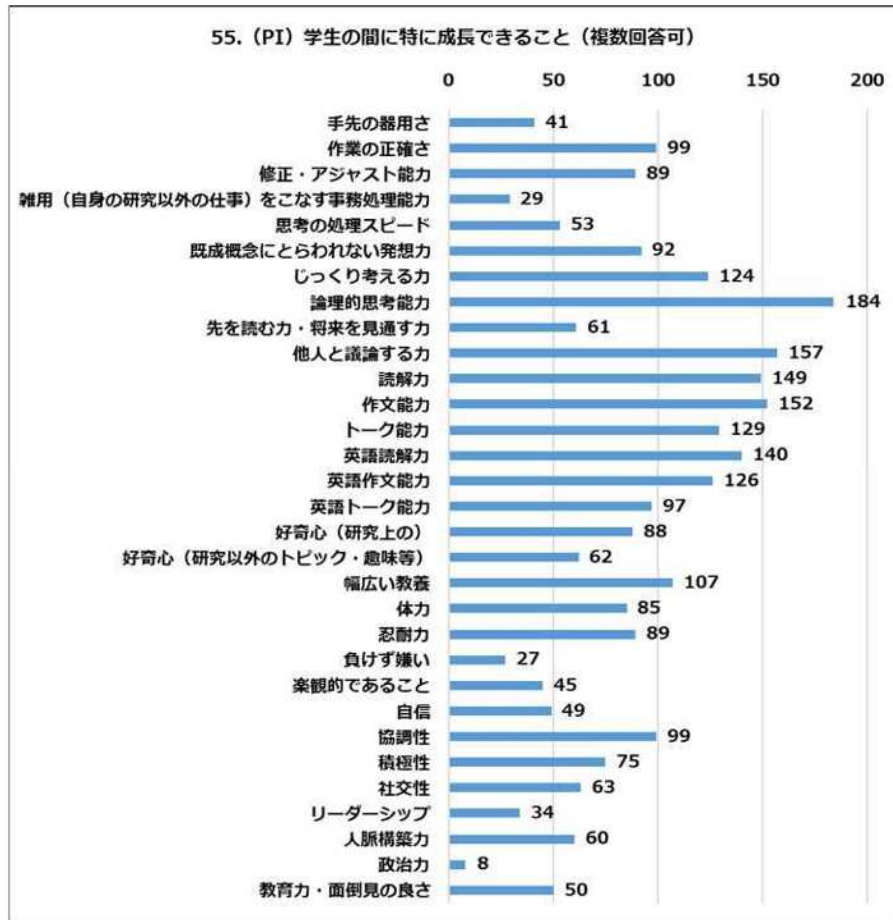


54-4. (PI) 研究者としての成功に特に重要なこと：  
研究業績（複数回答可）

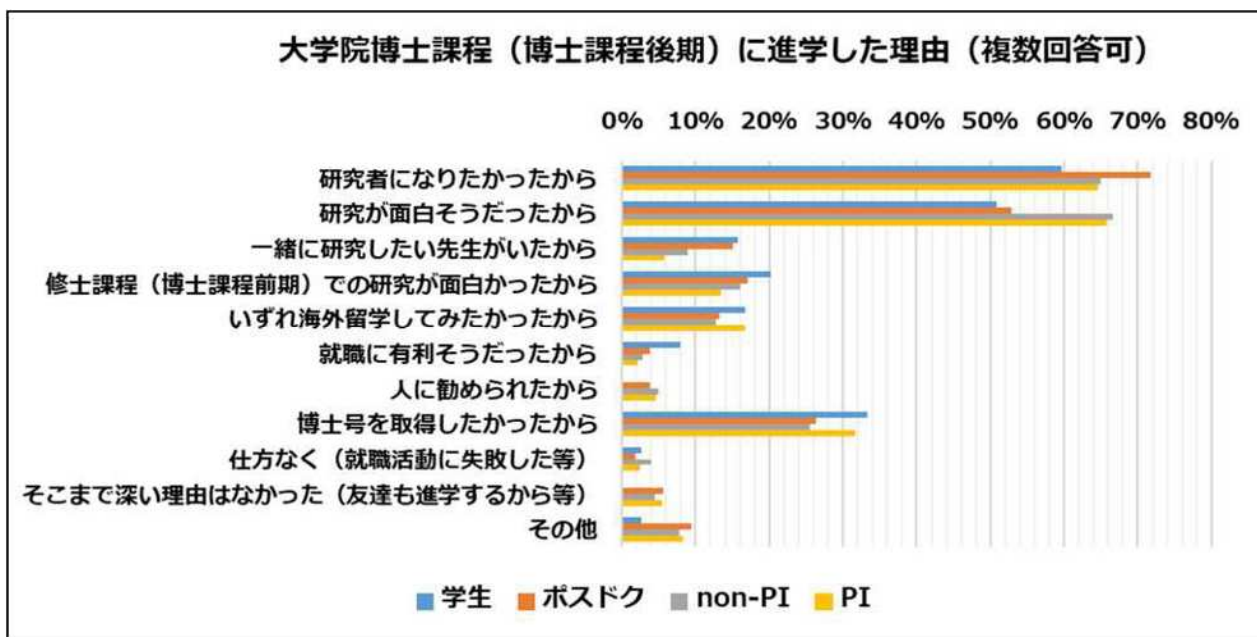
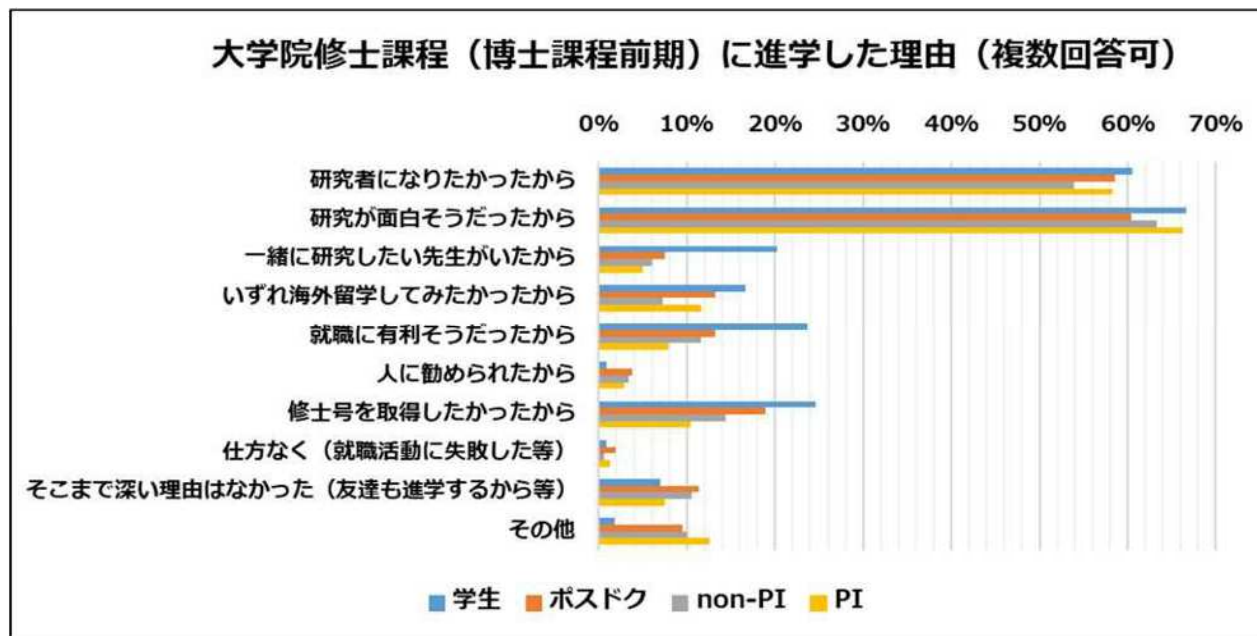


54-5. (PI) 研究者としての成功に特に重要なこと：  
研究費獲得能力（複数回答可）

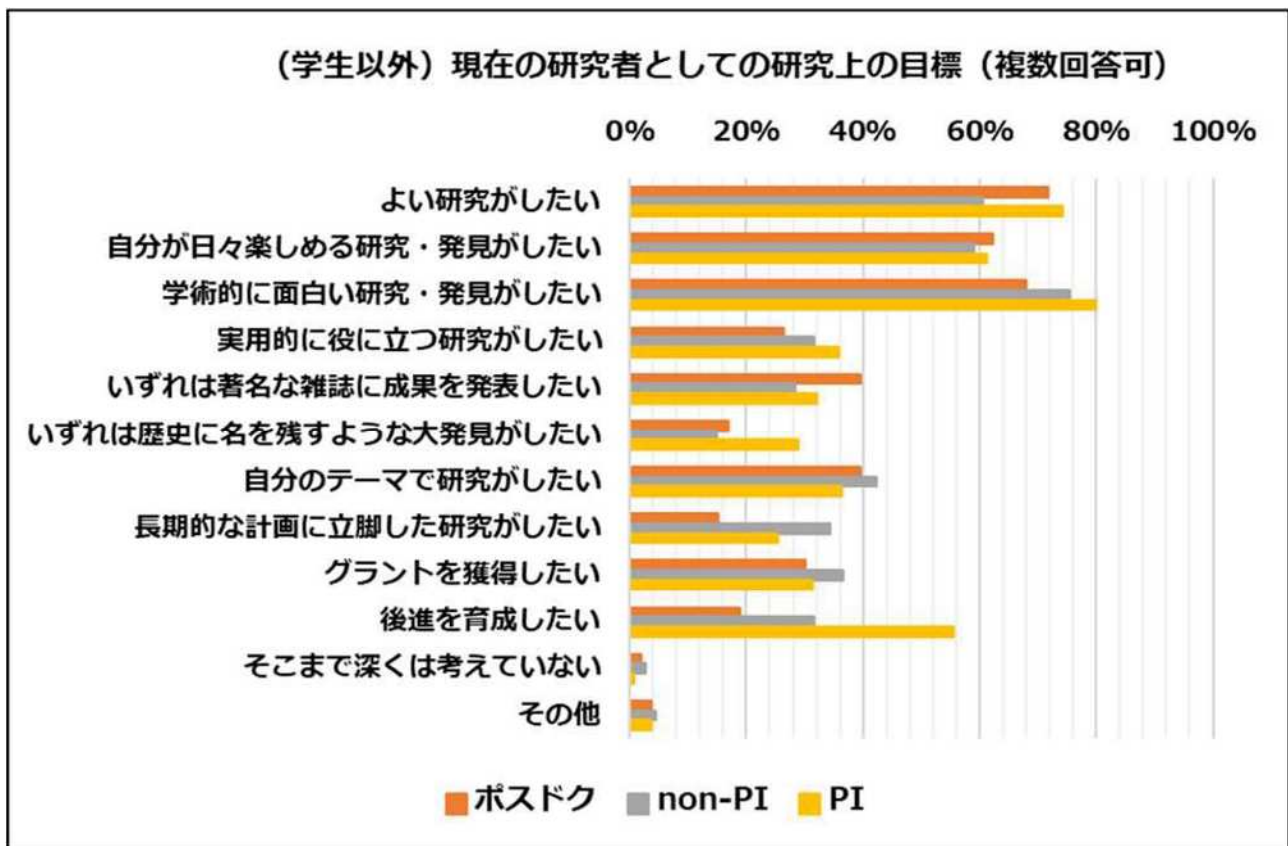
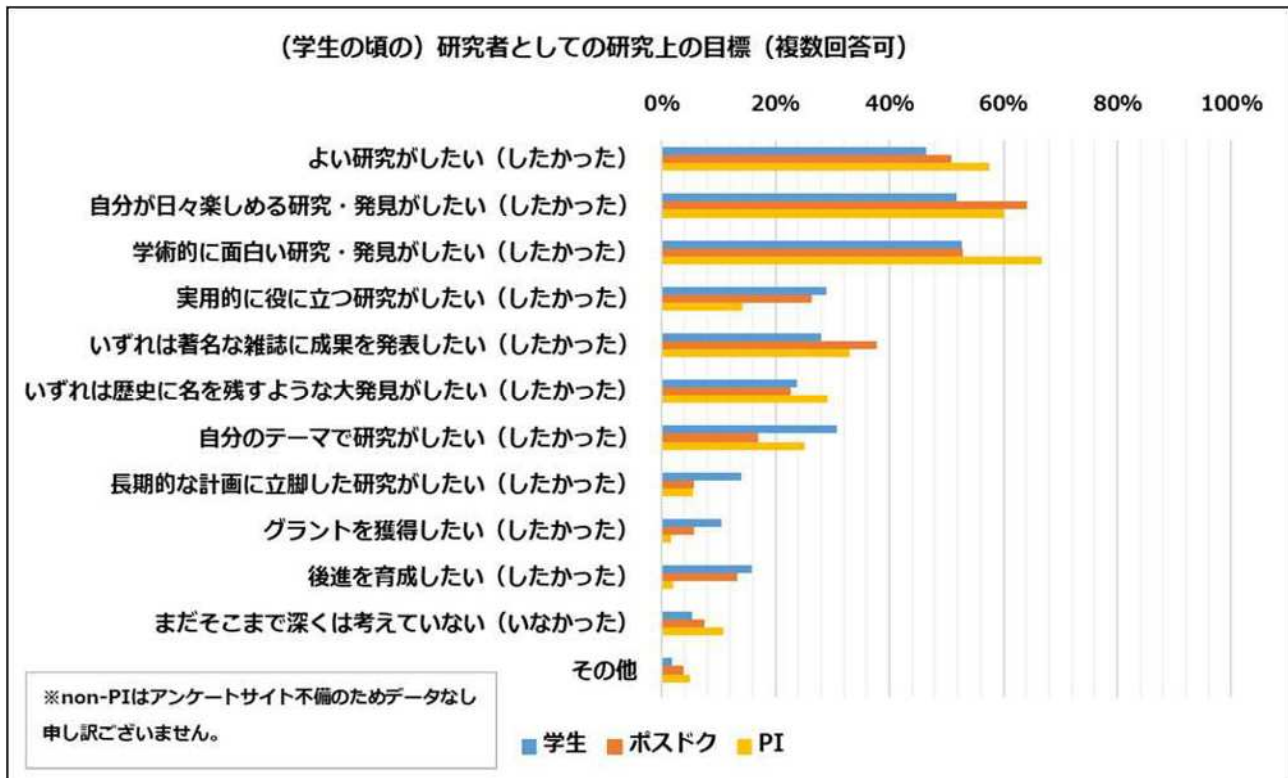




キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー2021  
『若い頃・大学院の頃にやっておくべきことは?』事前アンケート結果まとめ  
アンケート実施期間：2021.8.6-27  
回答者数：587名（学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名）

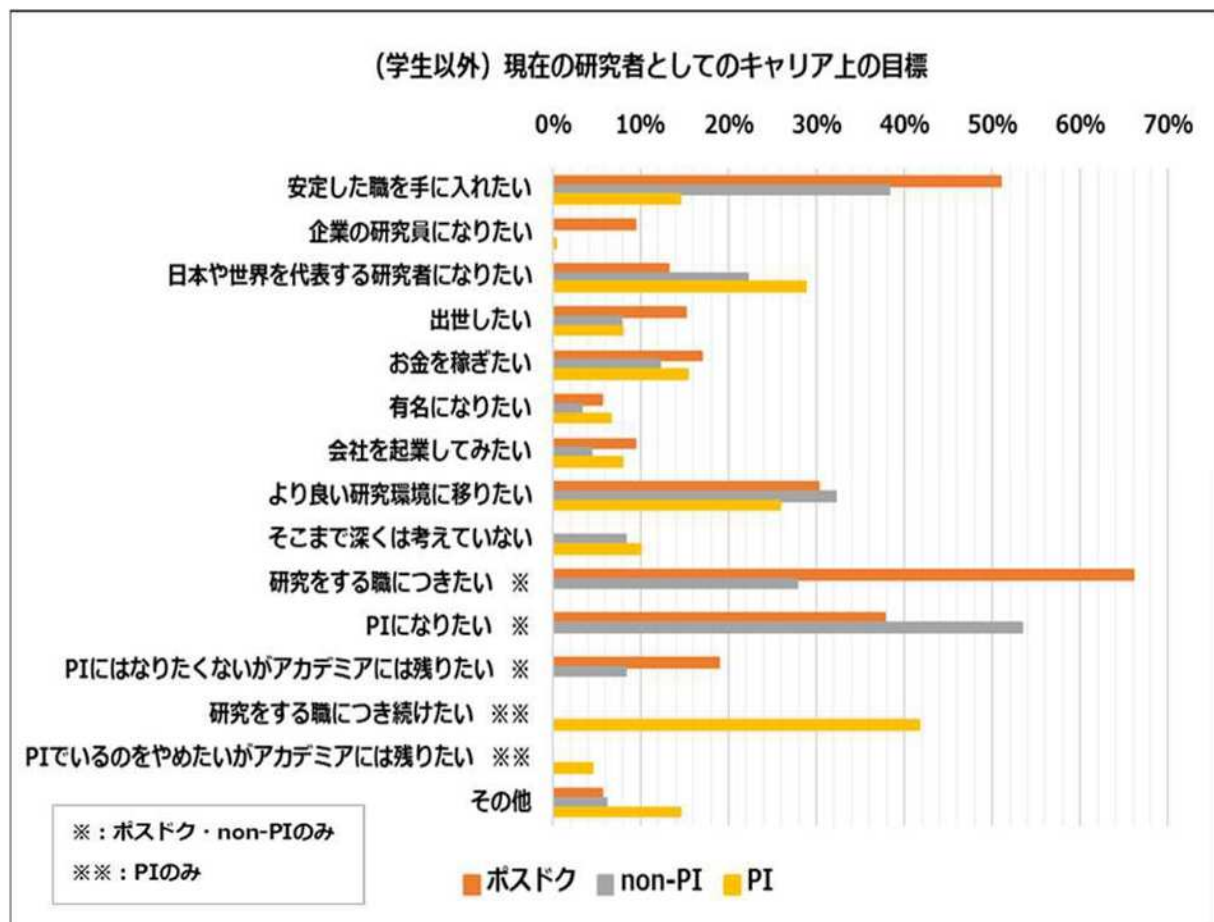
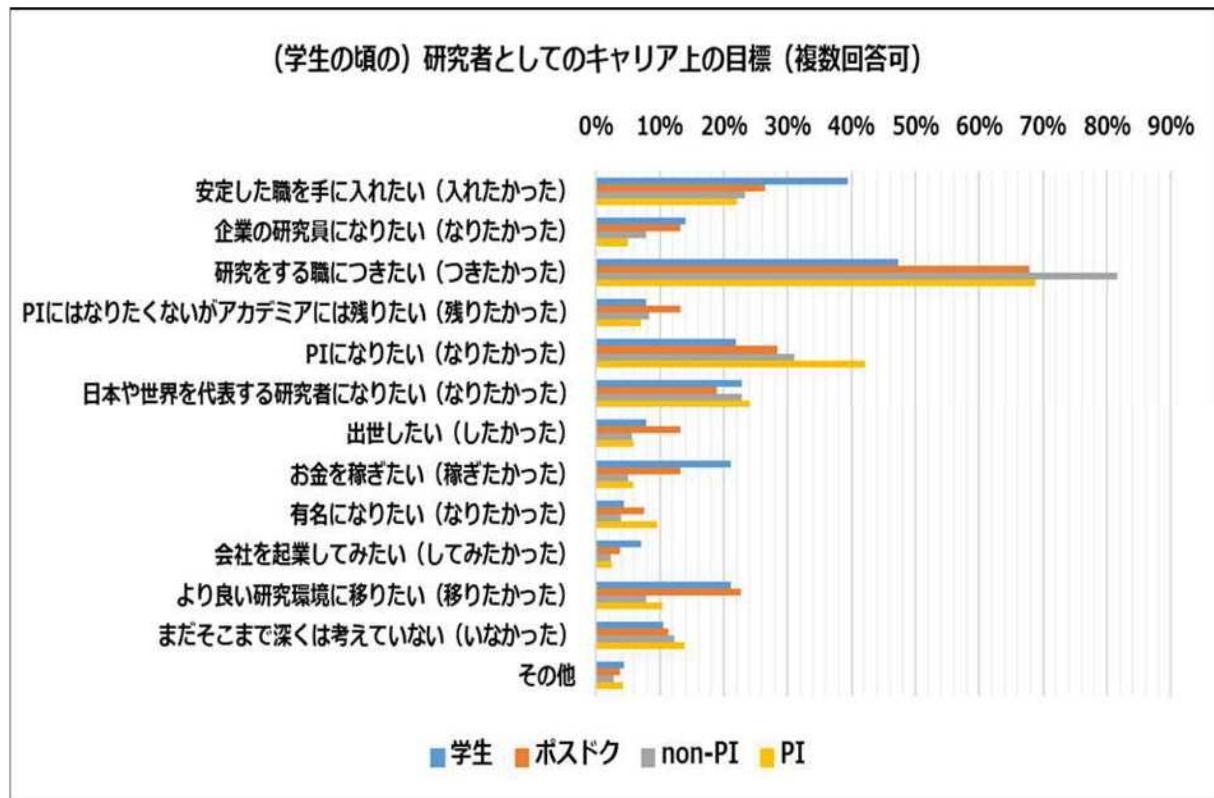


※回答者数…学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名

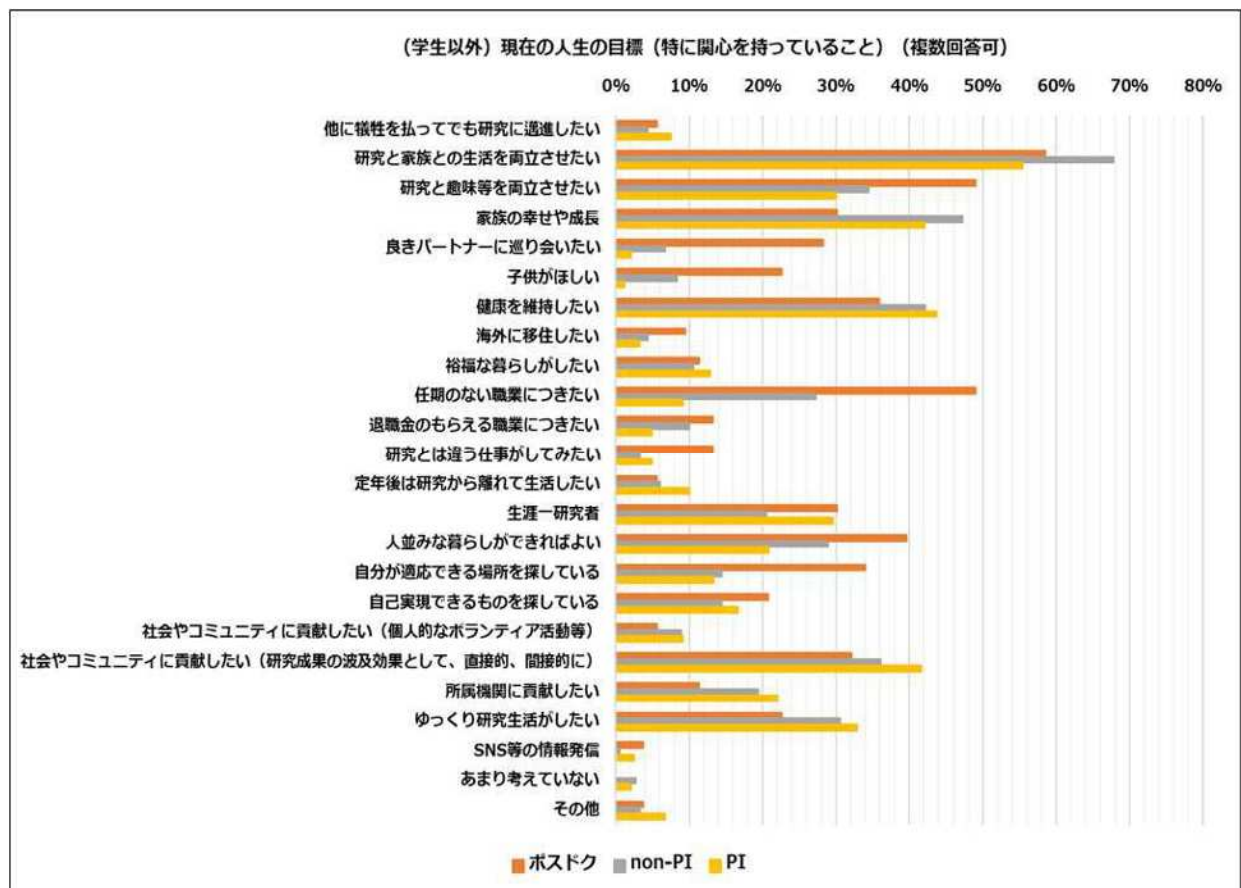
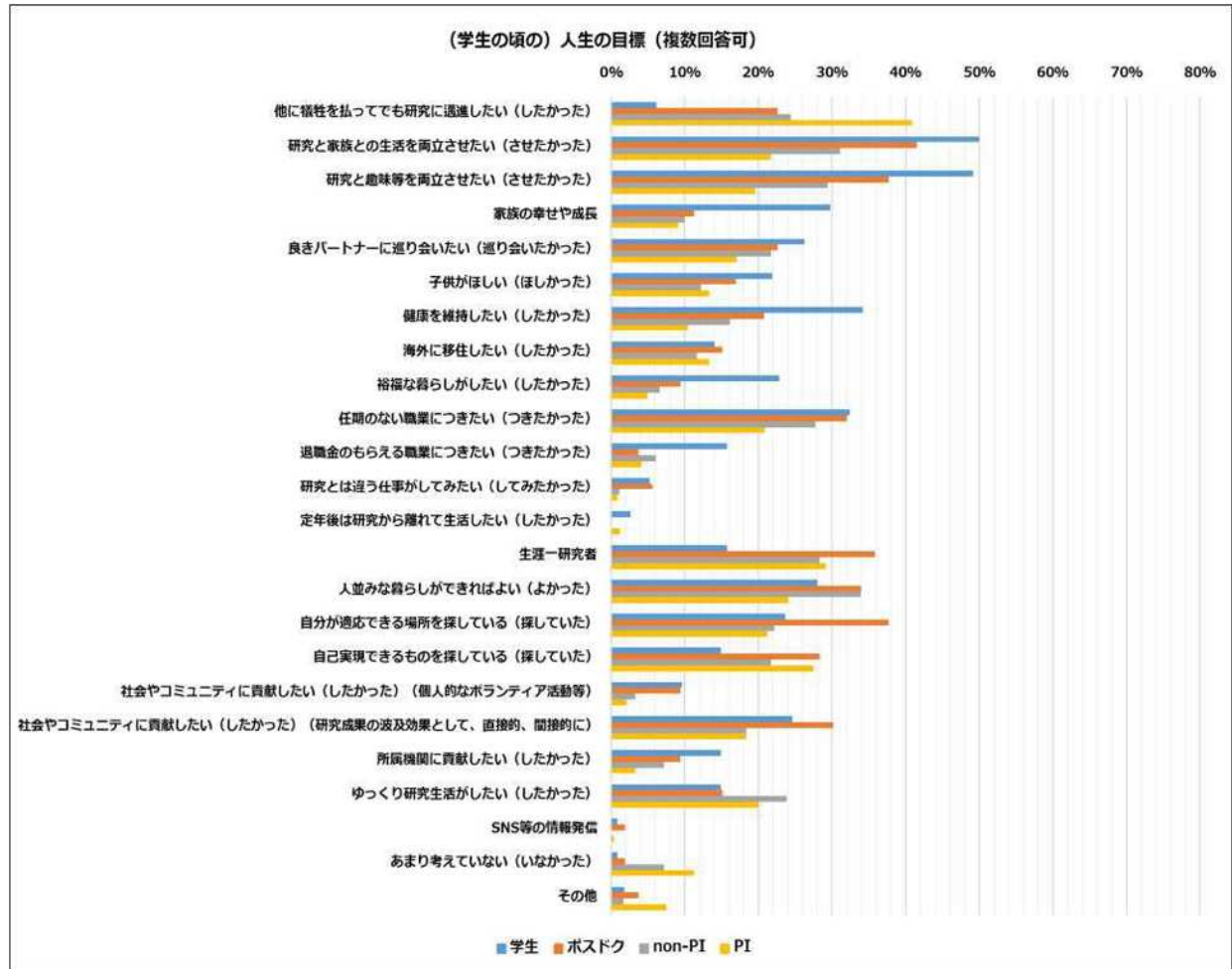




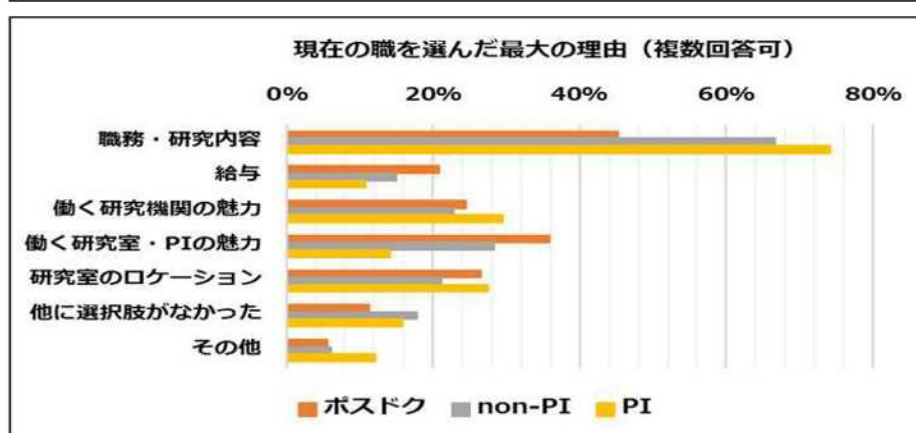
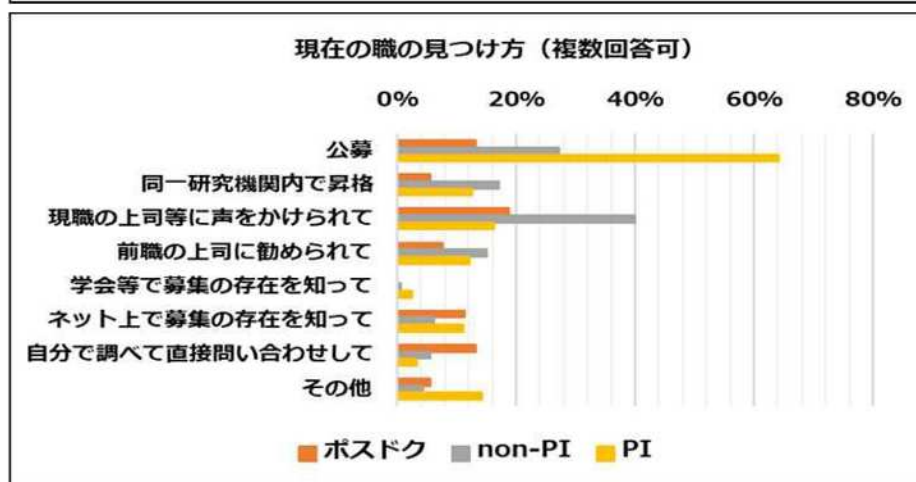
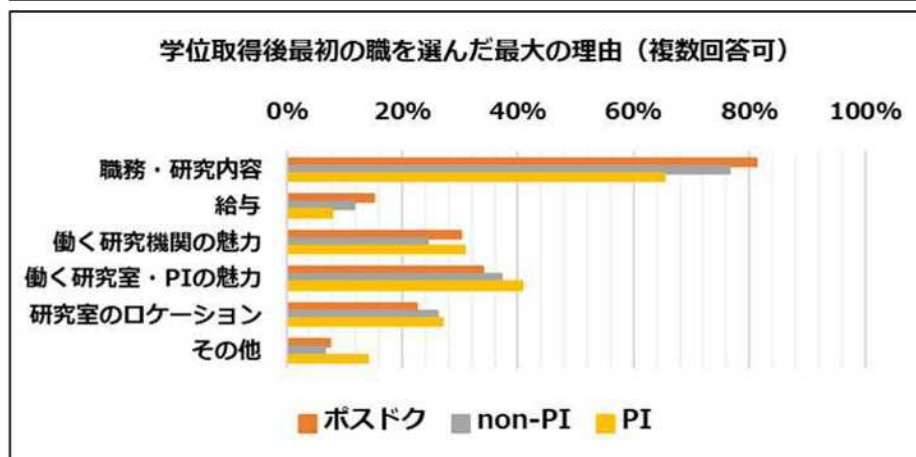
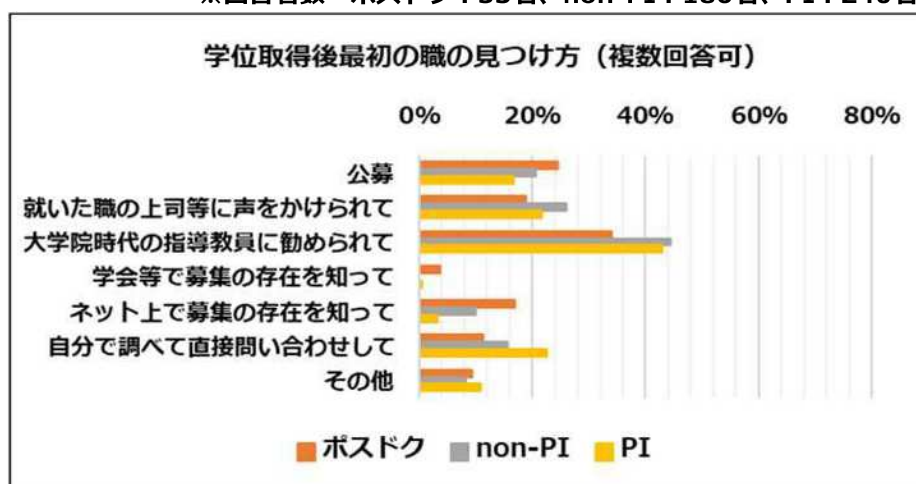
※回答者数…学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名



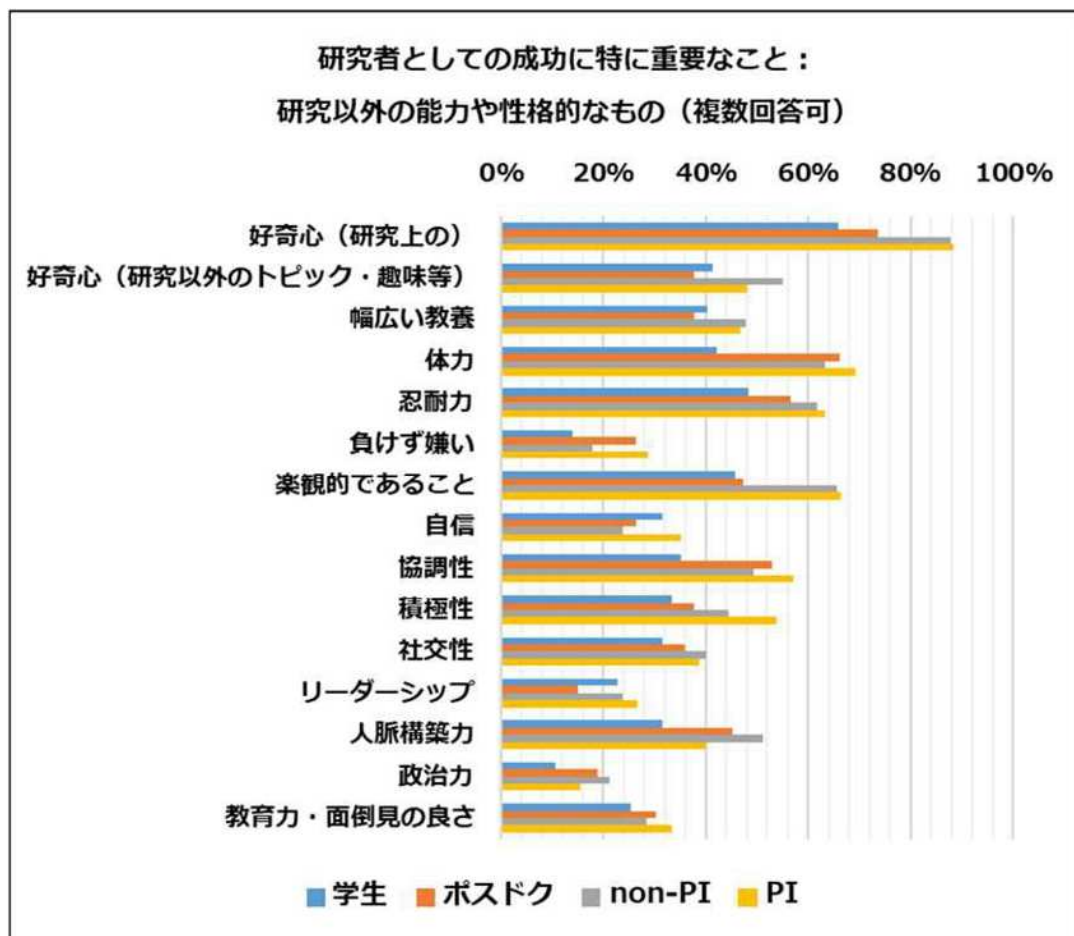
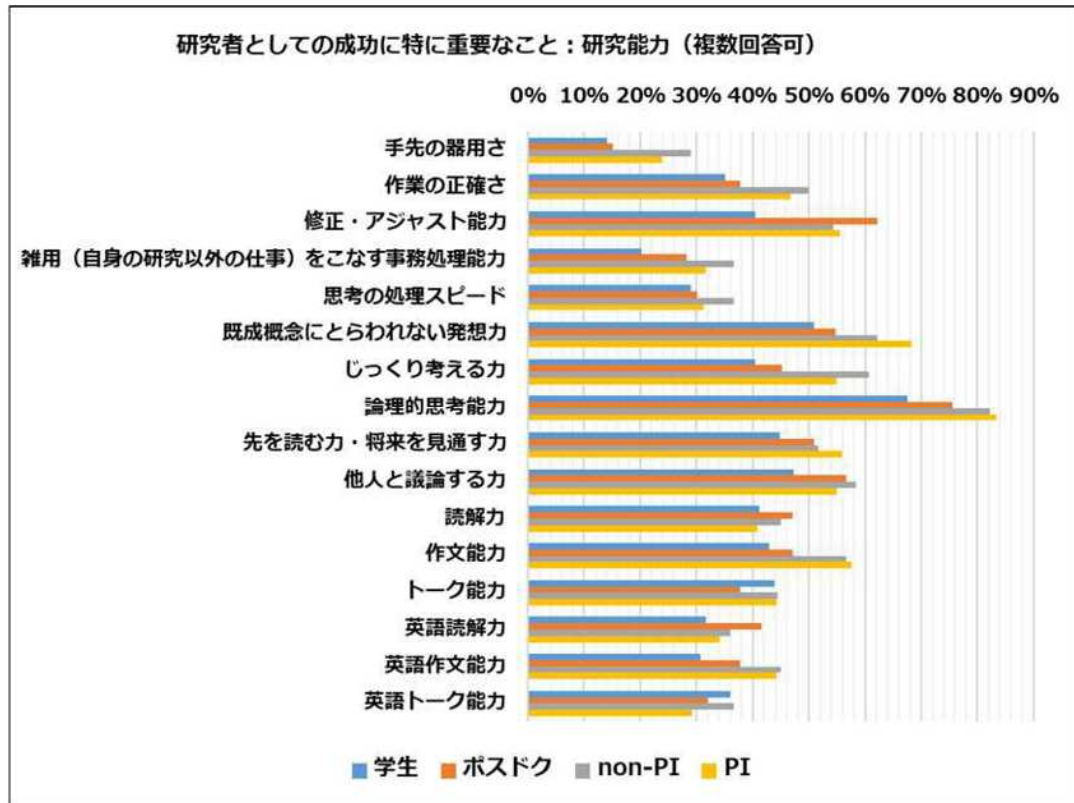
※回答者数…学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名



※回答者数…ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名

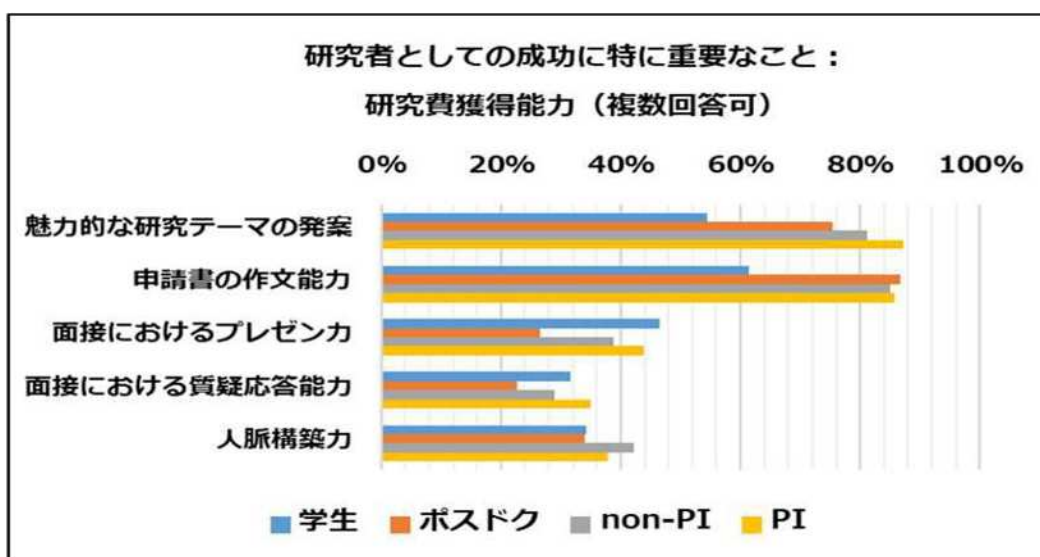
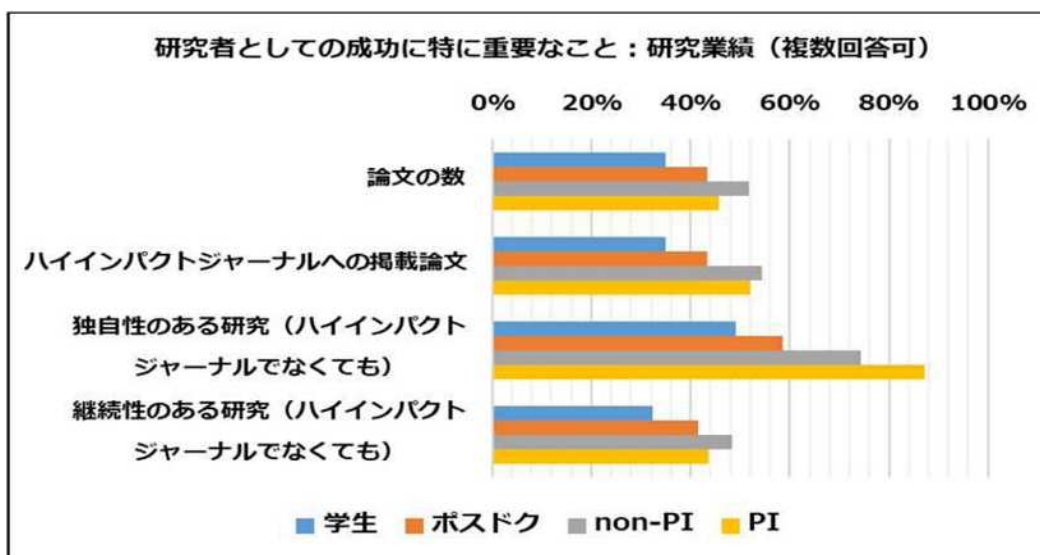
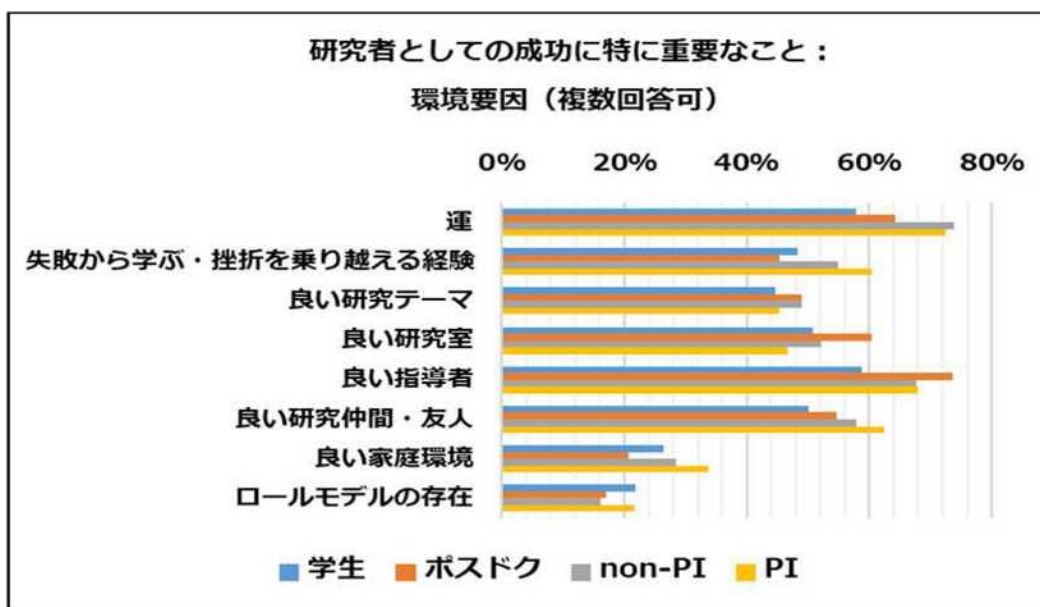


※回答者数…学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名

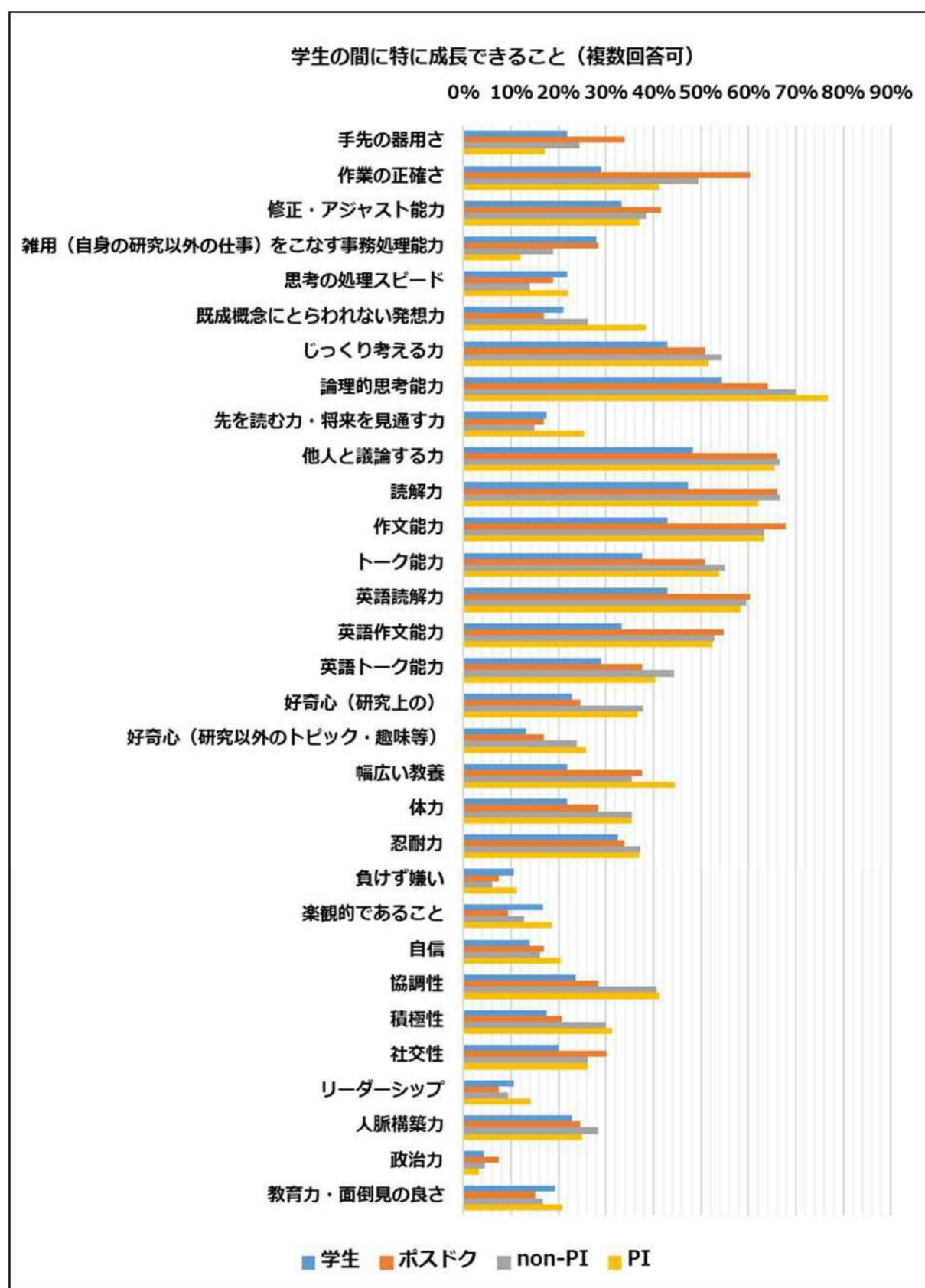




※アンケート回答者数…学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名



※アンケート回答者数…学生：114名、ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名



※アンケート回答者数…ポスドク：53名、non-PI：180名、PI：240名

